

補助

## 工事数量総括表

名 称	種 別	単 位	設計数量	積算数量	摘 要
1. 管路工					
1 開削管路工					
1.1 管路土工					
舗装版切断	舗装版切断	アスファルト版15cm以下	m	535	535
舗装版破砕	舗装版破砕	アスファルト版10cm以下	m <sup>2</sup>	578	578
舗装下掘削(土留め)	バックホ掘削	加-ラ型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	298	298
切土面仕上げ	基面整正		m <sup>2</sup>	96	96
基礎工(RC-40)	砕石基礎設置工(機械施工)		m <sup>3</sup>	15	15
流用土埋戻し(土留め)	バックホ掘削・タンパ転圧	加-ラ型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	200	200
残土処理	残土処理 運搬距離 L=2.0km	DT10t, BH0.45m <sup>3</sup> 級積込, BD15t整地	m <sup>3</sup>	54	54
残土処理	玉石処理 運搬距離 L=10.0km	DT10t, BH0.45m <sup>3</sup> 級積込	m <sup>3</sup>	22	22
1.2 管渠工					
1.2.1 管布設工	リブ付硬質塩化ビニル管設置工	管径150mm、施行規模20m以上、市場単価	m	104.9	105
埋設物表示シート		ダブル150mm×50m	m	104.9	105
材料費					
	マンホール用可とう継手	管径150mm	個	2	2
1.3 マンホール資材					
1号マンホール資材			式	1	1
1.4 マンホール工					
マンホール設置工	1号マンホール設置工(4箇所以上)	3.0m以下、市場単価	箇所	1	1
	1号マンホール設置工(4箇所以上)	3.0m超4.0m以下、市場単価	箇所	1	1
組立式マンホール底部工	1号マンホール		箇所	2	2
基礎工	基礎砕石工	RC-40規格外 t=200	m <sup>2</sup>	1	1
1.5 副管工					
外副管設置工	外副管設置工	1.0m以上～1.5m未満	箇所	1	1
材料費			式	1	1
型枠	型枠工	小型構造物	m <sup>2</sup>	2.20	2.2
基礎工	基礎砕石工	RC-40規格外 t=200	m <sup>2</sup>	0.27	0.3
コンクリート	コンクリートポンプ車打設	無筋Co18・8・40、W/C=60%以下 一般養生	m <sup>3</sup>	0.19	0.2

## 工事数量総括表

名 称	種 別		単 位	設計数量	積算数量	摘 要
1.6 公共ます工						
材料費			式	1	1	
公共ます設置工	ます設置工(塩化ビニル製)	φ200 5箇所以上 蓋無	箇所	1	1	
	塩ビ製公共ます設置工	深さ1.51m以上 蓋無	箇所	1	1	
1.7 取付管工						
取付管布設工及び支管取付工	取付管布設工及び支管取付工	φ100、5箇所以上、5m～12m未満 市場単価	箇所	2	2	
舗装版切断	舗装版切断	アスファルト版15cm以下	m	25.00	25	
舗装版破砕	舗装版破砕	アスファルト版10cm以下	m <sup>2</sup>	11.18	11	
舗装下掘削(素掘り)	バックホ掘削	クロー型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	0.9	0.9	
舗装下掘削(土留め)	バックホ掘削	クロー型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	24.80	25	
切土面仕上げ	基面整正		m <sup>2</sup>	8.02	8	
流用土埋戻し(土留め)	バックホ掘削・タンバ転圧	クロー型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	15.92	16	
残土処理	残土処理 運搬距離 L=2.0km	DT10t, BH0.45m <sup>3</sup> 級積込, BD15t整地	m <sup>3</sup>	8.01	8	
1.8 道路復旧工						
1.8.1 県道A型						
仮復旧	上層路盤工(歩道部)	t=190mm、C-20	m <sup>2</sup>	224.9	225	
	下層路盤工(歩道部)	t=450mm、RC-40	m <sup>2</sup>	113.4	113	
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、②再生密粒度AS(13)プライム	m <sup>2</sup>	224.9	225	
本復旧	不陸整正工		m <sup>2</sup>	372.8	373	
	基層工(車道・路肩部)	t=40mm、②再生密粒度AS(13)プライム	m <sup>2</sup>	372.8	373	
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、⑤再生密粒度AS(13F)タック	m <sup>2</sup>	407.3	407	
1.8.2 県道(車両乗入無)						
仮復旧	上層路盤工(歩道部)	t=100mm、C-20	m <sup>2</sup>	1.5	2	
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、②再生密粒度AS(13)プライム	m <sup>2</sup>	1.5	2	
本復旧	不陸整正工		m <sup>2</sup>	2.2	2	
	基層工(車道・路肩部)	t=50mm、⑤再生密粒度AS(13F)プライム	m <sup>2</sup>	2.2	2	
1.8.4 切削工	アスファルト切削工	t=3cm, W=30cm	m <sup>2</sup>	34.6	35	
1.8.5 区画線工	区画線	供用区間 実線 15cm ペイント式	m	107.0	107	
		供用区間 実線 15cm 溶融式	m	109.6	110	
1.9 産業廃棄物処理工						
産業廃棄物処理工	アスファルト塊	運搬距離 L=10.5km	m <sup>3</sup>	33.00	33	
	アスファルト塊(切削材)	運搬距離 L=10.5km	m <sup>3</sup>	1.00	1	

## 工事数量総括表

名 称	種 別		単 位	設計数量	積算数量	摘 要
2. 仮設工						
2 管路仮設工						
2.1 排水ポンプ運転						
排水ポンプ工	排水ポンプ運転	口径φ50mm、作業時排水	日	9.00	9	
	排水ポンプ設置撤去		現場	1.00	1	
	釜場設置撤去	釜場掘削・設置	箇所	3.00	3	
2.2 土留工						
本管土留工	軽量鋼矢板建込工(設置・撤去)	掘削深H=2.50m以下、支保工2段	m	60.00	60	
	軽量鋼矢板建込工(設置・撤去)	掘削深H=3.50m以下、支保工2段	m	47.00	47	
	軽量鋼矢板賃料	軽量型、軽作業	t	10.372	10.37	
	軽量金属支保工	賃料、修理及び損耗費	式	1.00	1	
取付管土留工	軽量鋼矢板建込工(設置・撤去)	掘削深H=2.00m以下、支保工2段	m	11.50	12	
		掘削深H=2.50m以下、支保工2段	m	2.50	3	
	軽量鋼矢板賃料	軽量型、軽作業	t	3.143	3.1	
	軽量金属支保工	賃料、修理及び損耗費	式	1.00	1	
2.3 交通管理工						
交通誘導	交通誘導員A		人	30.00	30	
	交通誘導員B		人	30.00	30	
3 間接工事費						
3.1 共通仮設費						
3.1.1 準備費						
試験掘工	県道A型		箇所	1.00	1	
舗装版切断	舗装版切断	アスファルト版15cm以下	m	5.0	5.0	
舗装版破碎	舗装版破碎	アスファルト版10cm以下	m <sup>2</sup>	1.4	1.0	
舗装下掘削(素掘り)	バックホ掘削	加ラ型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	2.0	2.0	
流用土埋戻し(素掘り)	バックホ掘削・タンバ転圧	加ラ型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	1.2	1.0	
残土処理	残土処理 運搬距離 L=2.0km	DT10t, BH0.45m <sup>3</sup> 級積込, BD15t整地	m <sup>3</sup>	0.7	0.7	
仮復旧	下層路盤工(歩道部)	t=450mm、RC-40	m <sup>2</sup>	1.4	1.0	
	上層路盤工(歩道部)	t=190mm、C-20	m <sup>2</sup>	1.4	1.0	
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、②再生密粒度AS(13)プライム	m <sup>2</sup>	1.4	1.0	



管路施設第1号工事

管 路 土 工 総 括 表

工 種		規 格		単 位	数 量	備 考
舗 装 版 切 断		t= 15 cmまで		m	535	(舗装版切断調書より) 535.00
		t= 30 cmまで		"		
掘 削	舗 装 版	t= 10 cmまで		m <sup>2</sup>	578	(舗装版取壊し・積込み・産業廃棄物処理一覧表より) As 577.80
		t= 15 cmまで		"		
	舗 装 下	BH 0.45m <sup>3</sup> 級 (素掘)		m <sup>3</sup>		
		BH 0.45m <sup>3</sup> 級 (土留め)		m <sup>3</sup>	298	(管路数量計算書より) 298.20
		大型ブレイカー (土留め)		"		
人 力 切 土 面 仕 上		人 力		m <sup>2</sup>	96	(面仕上計算書より) 96.30
基 礎 工	管床部及び 管側頂部	搬 入 土 ( 砂 )	BH 0.45m <sup>3</sup> 級(素掘)		m <sup>3</sup>	
			BH 0.45m <sup>3</sup> 級(土留め)		"	
		搬 入 土 (RC-40)	BH 0.45m <sup>3</sup> 級(素掘)		m <sup>3</sup>	
			BH 0.45m <sup>3</sup> 級(土留め)		"	15
		流 用 土	BH 0.45m <sup>3</sup> 級(素掘)		"	
			BH 0.45m <sup>3</sup> 級(土留め)		"	
埋 戻 管 上 部 埋 戻 部	搬 入 土	BH 0.45m <sup>3</sup> 級 (素掘)		"		
		BH 0.45m <sup>3</sup> 級 (土留め)		"		
	流 用 土	BH 0.45m <sup>3</sup> 級 (素掘)		"		
		BH 0.45m <sup>3</sup> 級 (土留め)		"	200	(管路数量計算書より) 199.76
産 廃 処 理	舗装(As塊)	BH 0.45m <sup>3</sup> 級 10tダンプ		"	33	(舗装版取壊し・積込み・産業廃棄物処理、取付管土工集計表より) 31.88 + 1.278 =33.158
	舗装(Co塊)	BH 0.45m <sup>3</sup> 級 10tダンプ		"		
	切 削 (As)	人 力 2tダンプ		"	1	(本線切削調書より) 0.96
残 土 処 理	舗 装 下	BH 0.45m <sup>3</sup> 級 10tダンプ		"	54	(管路数量計算書より) 76.23 - 21.8 =54.43 (岩石分差引)
		BH 0.80m <sup>3</sup> 級 10tダンプ		"	22	岩石処分 217.95 × 10% =21.8 (路盤以外の掘削土量×10%)









## リブ管管渠延長内訳表

管路施設第1号工事

管 径 (mm)	区間延長 (m)	管渠延長 (m)	可とう継手 下流	可とう継手 上流	リブ直管延長 (m)	リブRB管 1.045m×12mR(5°)		リブRB管 2.095m×12mR(10°)		リブRB管 2.160m×5.5mR(22.5°)		マンホール延長 (m)	埋設表示シート 延長 (m)
			個数(個)	個数(個)		箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)		
φ150	107.000	104.900	2		107.000	1	1.045					2.100	104.900
φ200													
φ250													
計	107.000	104.900	2		107.000	1	1.045					2.100	104.900

## リブ管管渠調査延長内訳表

管 径 (mm)	RB管区間管渠延長 (m)	直線区間管渠延長 (m)	計 (m)	備 考
φ150		104.900	104.900	
φ200				
φ250				
計		104.900	104.900	(カメラ調査延長 L= 104.900 m)



マンホール歩掛集計表

区分		箇所数			
1 号	～3.00m	1			
	3.01m～4.00m	1			
	4.01m～5.00m				
2 号	～2.00m				
	2.01m～3.00m				
	3.01m～4.00m				
	4.01m～5.00m				
	5.01m～6.00m				
計		2			



# 外部副管工調書

マンホール 番号	本管径	落差	段差	副管用90度支管		接着受口カー		プレイント直管		副管用90度曲管		副管径 φ	巻立コンクリート			型枠工	コンクリート工	基礎砕石工	備 考
				150*100	200*150	φ 100	φ 150	φ 100	φ 150	φ 100	φ 150		幅 (W)	長 (L)	高 (H)				
M3	150	1.000	1.0m以上～ 1.5m未満	1		1		0.669		1		100	0.370	0.500	1.553	2.127	0.266	0.185	
計				1		1		0.669 m 1.000 本		1						2.127 m <sup>2</sup>	0.266 m <sup>2</sup>	0.185 m <sup>2</sup>	

汚水柵・取付管集計表(全体)

汚水柵総箇所数 2 箇所

弥生地区管路施設第1号工事

取付管総延長 14.00 m

汚水柵集計

基礎砂

2箇所 × 0.03 = 0.06

※1.5m以下 市場単価  
※1.5m超 積上げ

内積上げ分

0.06 m<sup>3</sup> 0.03 m<sup>3</sup>

汚水柵設置労務

	箇所数
H ≤ 1.0	
H ≤ 1.5	1
H > 1.5	1

市場単価計上分

1 箇所

内積上げ分

1 箇所

汚水柵部材数量

名称	蓋名	蓋区分	保護蓋	蓋厚さ	数量	立上り管 VU200mm
縦型	ミカゲ蓋	宅内	無し	0.23		
	t-8蓋	一般	有り	0.34		
	t-25蓋	大型	有り	0.34		
横型	ミカゲ蓋	宅内	無し	0.23	2	2.84
	t-8蓋	一般	有り	0.34		
	t-25蓋	大型	有り	0.34		

保護蓋数量(材料費：積上げ、労務費市場単価)

大型車用 箇所  
一般車用 箇所

VU200mm本数 (4m/本)

2.84m ÷ 4.0m = 0.7 内積上げ分  
0.7 本 0.4 本

取付管集計

※市場単価

平均延長 7.00 m

曲管数量

曲管種別	部材長	数量	延長
15° 自在	0.2		
30°	0.2		
45°	0.2		
90° ベント	0.9		
30° 自在	0.2		
60° 自在	0.2	1	0.20
計			0.20

直管 φ100 4.0m/本

14.00m - 0.20m = 13.80

13.80 m

13.80m / 4m = 3.4本

4.0 本

支管数量

支管種別	数量
150*100	1
200*100	
250*100	
300*100	
350*100	
400*100	



管路施設第1号工事

取 付 管 土 工 総 括 表

工 種		規 格		数 量							合 計	備 考	
舗 装 版 切 断		アスファルト舗装版 t=10cm 以下		別途計算書より計上							25.00	m	
取 壊 ・ 積 込 み		アスファルト舗装版 t=10cm 以下											
掘 削	機 械 掘 削	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)		0.91						0.91	m <sup>3</sup>	
			(土留め)	15.69	9.11						24.80	"	
切 土 面 仕 上		人 力			8.02						8.02	m <sup>2</sup>	
基 礎 工	管 床 部 及 び 管 側 頂 部	搬 入 土 ( 砂 )	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)								m <sup>3</sup>	
				(土留め)	2.70	1.50						4.20	"
埋 戻 工	埋 戻 管 上 部 埋 戻 し	流 用 土	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)								"	
				(土留め)	1.79	0.99	6.58	6.56				15.92	"
		搬 入 土 ( 砂 )	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)	凍上抑制層(道路復旧にて計上)								"
				(土留め)									
産 廃 処 理	舗 装 (As 塊)	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	10tダンプ	別途計算書より計上								"	
	舗 装 (Co 塊)	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	10tダンプ										
	切 削 (As)	人 力	2tダンプ										
残 土 処 理	舗 装 下	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	10tダンプ		7.30		0.71				8.01	"	

管路施設第1号工事

取付管土工集計表

工 種		規 格		単 位	数 量						合 計	備 考			
道 路 区 分					県道A型(土留め)	県道B型(土留め)									
延 長		道路部		m	7.50	1.50						9.00			
		宅地部		"	4.00	1.00							5.00		
舗 装 版 切 断				"	別途計算書より計上										
取 壊 ・ 積 込 み				m <sup>2</sup>	別途計算書より計上										
掘 削	機 械 掘 削	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)	m <sup>3</sup>									道路部		
			(土留め)	"	12.47	3.22							15.69	道路部	
	機 械 掘 削 (影 響 幅)	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)	"	0.83	0.08							0.91	道路部	
			(土留め)	"	6.93	2.18							9.11	宅地部	
機 械 掘 削 (宅 地 分)	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)	"										宅地部		
		(土留め)	"	6.93	2.18							9.11	宅地部		
切 土 面 仕 上		人 力		(素掘)	m <sup>2</sup>								道路部		
				(土留め)	"	6.68	1.34							8.02	道路部
基 礎 工	管 床 部 及 び 管 側 頂 部	搬 入 土 ( 砂 )	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)	m <sup>3</sup>								道路部		
				(土留め)	"	2.25	0.45							2.70	道路部
				(素掘)	"										宅地部
				(土留め)	"	1.20	0.30							1.50	宅地部
埋 戻 工	埋 戻 管 上 部	流 用 土	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)	"								道路部		
				(土留め)	"	1.49	0.30							1.79	道路部
				(素掘)	"										宅地部
				(土留め)	"	0.79	0.20							0.99	宅地部
埋 戻 し		搬 入 土 ( 砂 )	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)	"	凍上抑制層(道路復旧にて計上)							道路部		
				(土留め)	"										道路部
		流 用 土	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)	"										道路部
				(土留め)	"	4.49	2.09							6.58	道路部
				(素掘)	"										宅地部
				(土留め)	"	4.89	1.67							6.56	宅地部
産 廃 処 理	舗 装 (As 塊)	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	10tダンプ	"	別途計算書より計上										
	舗 装 (Co 塊)	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	10tダンプ	"	別途計算書より計上										
	切 削 (As)	人 力	2tダンプ	"	別途計算書より計上										
残 土 処 理	舗 装 下	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	10tダンプ	(素掘)	"								道路部		
		BH 0.45m <sup>3</sup> 級	10tダンプ	(土留め)	"	6.65	0.65						7.30	道路部	
		BH 0.45m <sup>3</sup> 級	10tダンプ	(素掘)	"									宅地部	
		BH 0.45m <sup>3</sup> 級	10tダンプ	(土留め)	"	0.61	0.10						0.71	宅地部	

## 取 付 管 土 工 集 計 表

舗装区分：As

復旧名	舗装盤切断延長：m				開削面積：㎡								復旧面積：㎡						産廃 処理量 ㎡	舗装区分：As		
					仮復旧			本復旧					仮復旧		本復旧		切削 面積	道路部		宅地部		
	舗装盤カッター規格別				舗装	上層	下層	表層	基層	上層	下層	舗装	上層	下層	表層	基層		上層		下層	延長	延長
	t=10cm	t=15cm	t=20cm	t=25cm																	1.4m未満 3.0m以下 6.0m以下	1.4m未満 3.0m以下 6.0m以下
県道A型	22.00	22.00			10.94	10.94	6.43	8.95	8.95			10.94	10.94	6.43	8.95	8.95			2.52	1.17	7.50	4.00
県歩乗入無	3.00	3.00			1.48	1.48		2.23		0.75		1.48			2.23		0.75	0.111		1.50	1.00	
合計	25.00	25.00			12.42	12.42	6.43	11.18	8.95	0.75		12.42	6.43		11.18	8.95	0.75	2.52	1.28	9.00	5.00	

※復旧面積のアスファルト舗装部は、開削幅により歩掛が異なるため、歩掛毎に集計を分けている。



# 取 付 管 土 工

## 弥生地区管路施設第1号工事

路線名：幹線-3.4

復旧区分：県歩道：車両乗り入れ無し[As]

宅 番 地 号	測 点	本線掘削 幅/2	舗装 区分	仮 復 旧 時				本 復 旧 時					産 廃 処理量	備 考				
				延 長	開削幅	取壊面積	復旧面積	舗装盤 切 断 本数 延長	開削幅	取壊面積		復旧面積			切削面 積 (舗 装)	舗装盤 切 断 本数 延長		
					道路部	舗装	舗装		舗装	舗装	舗装	路盤					舗装	路盤
					宅地部	上層	上層		上層	上層	表層	上層					表層	上層
計	下層	下層	下層	下層	基層	下層	基層	下層										
3	M2+42.00	0.50	As	1.50	0.990	1.48	1.48	2	1.490	2.23	0.75	2.23	0.75	2	0.111	半面反対側		
				1.00	0.990		1.48	2	0.500					3.00				
				2.50		0.00	0.00	3.00										
				1.50		1.48	1.48											
				1.00			1.48			2.23	0.75	2.23	0.75		0.111			
				2.50				3.00						3.00				

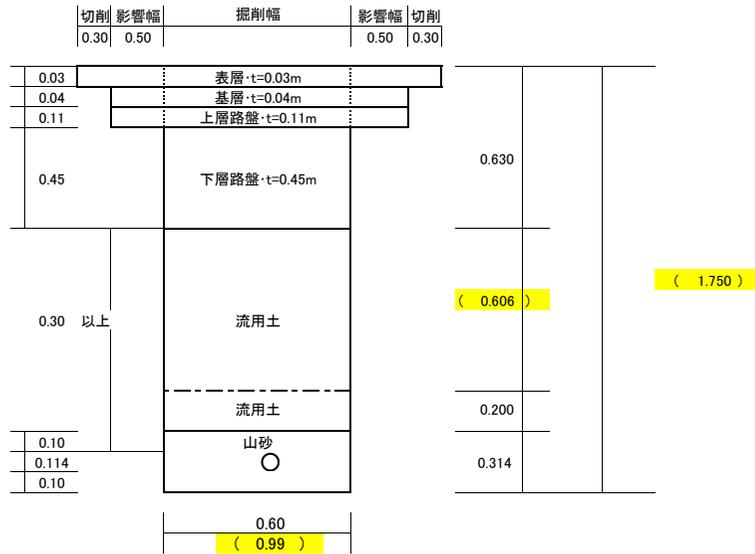


# 取付管土工(県道A型)数量計算書

	樹深合計	÷	箇所数	=	平均深
(素堀)					
(土留)	3.30		2		1.65

※( )は土留の場合  
 ※平均掘削深=平均汚水樹深+0.1(砂基礎厚)

(道路部)



(宅地部)



1 m 当り算出

工種	素堀	土留
舗装版切断 取壊・積込み	別途計算書より計上	
機械掘削 (BH・0.45m <sup>3</sup> 級)	( 1.750 - 0.07 )	× 0.99 = 1.663 m <sup>3</sup>
機械掘削(影響幅) (BH・0.45m <sup>3</sup> 級)	1.00	× 0.11 = 0.110 m <sup>3</sup>
切土面仕上げ	1.00	× 0.89 = 0.890 m <sup>2</sup>
BH・0.45m <sup>3</sup> 級投入 基礎砂・管床側頂部	$0.99 \times 0.314 - \left[ \frac{3.14 \times 0.114 \times 0.114}{4} \right]$	= 0.300 m <sup>3</sup>
BH・0.45m <sup>3</sup> 級投入(流用) 埋戻し管上部	0.99	× 0.20 = 0.198 m <sup>3</sup>
BH・0.45m <sup>3</sup> 級投入(流用) 埋戻し	0.99	× 0.606 = 0.599 m <sup>3</sup>
BH・0.45m <sup>3</sup> 級投入 残土処理	1.663 - ( 0.198 + 0.599 )	÷ 0.9 = 0.777 m <sup>3</sup>
BH・0.45m <sup>3</sup> 級投入 残土処理		= 0.110 m <sup>3</sup>

1 m 当り算出

工種	素堀	土留
機械掘削 (BH・0.45m <sup>3</sup> 級)	0.99	× 1.75 = 1.732 m <sup>3</sup>
BH・0.45m <sup>3</sup> 級投入 基礎砂・管床側頂部	$0.99 \times 0.314 - \left[ \frac{3.14 \times 0.114 \times 0.114}{4} \right]$	= 0.300 m <sup>3</sup>
BH・0.45m <sup>3</sup> 級投入(流用) 埋戻し管上部	0.99	× 0.20 = 0.198 m <sup>3</sup>
BH・0.45m <sup>3</sup> 級投入(流用) 埋戻し	0.99	× 1.236 = 1.223 m <sup>3</sup>
残土処理	1.732 - ( 0.198 + 1.223 )	÷ 0.9 = 0.153 m <sup>3</sup>

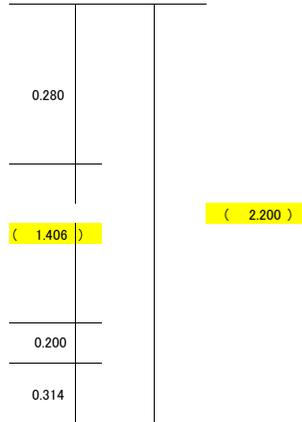
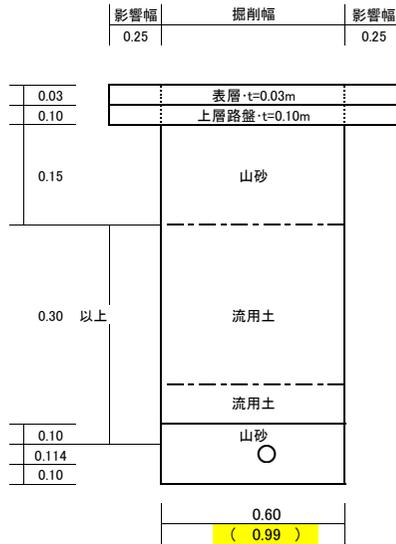
# 取付管土工(県歩道:車両乗り入れ無し)数量計算書

樹深合計 (素堀)	÷	箇所数	=	平均深
2.10	÷	1	=	2.10

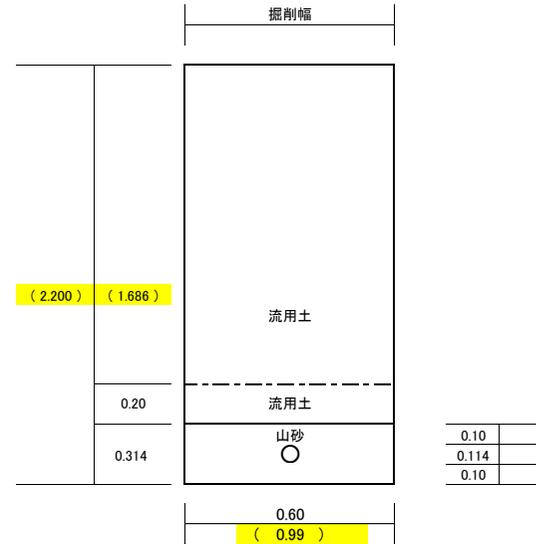
※( )は土留の場合

※平均掘削深=平均汚水樹深+0.1(砂基礎厚)

(道路部)



(宅地部)



1 m 当り算出

工種	素堀	土留
舗装版切断 取壊・積込み		別途計算書より計上
機械掘削 (BH・0.45m <sup>3</sup> 級)		( 2.200 - 0.03 ) × 0.99 = 2.148 m <sup>3</sup>
機械掘削(影響幅) (BH・0.45m <sup>3</sup> 級)		0.50 × 0.10 = 0.050 m <sup>3</sup>
切土面仕上げ		1.00 × 0.89 = 0.890 m <sup>2</sup>
BH・0.45m <sup>3</sup> 級投入 基礎砂・管床側頂部		$\frac{0.99 \times 0.314 - \{ ( 3.14 \times 0.114 \times 0.114 ) \}}{4} = 0.300 \text{ m}^3$
BH・0.45m <sup>3</sup> 級投入(流用) 埋戻し管上部		0.99 × 0.20 = 0.198 m <sup>3</sup>
BH・0.45m <sup>3</sup> 級投入(流用) 埋戻し		0.99 × 1.406 = 1.391 m <sup>3</sup>
BH・0.45m <sup>3</sup> 級投入(山砂) 埋戻し		凍上抑制層(道路復旧にて計上)
BH・0.45m <sup>3</sup> 級投入 残土処理		$2.148 - ( 0.198 + 1.391 ) \div 0.9 = 0.382 \text{ m}^3$
BH・0.45m <sup>3</sup> 級投入 残土処理		= 0.050 m <sup>3</sup>

1 m 当り算出

工種	素堀	土留
機械掘削 (BH・0.45m <sup>3</sup> 級)		0.99 × 2.20 = 2.178 m <sup>3</sup>
BH・0.45m <sup>3</sup> 級投入 基礎砂・管床側頂部		$\frac{0.99 \times 0.314 - \{ ( 3.14 \times 0.114 \times 0.114 ) \}}{4} = 0.300 \text{ m}^3$
BH・0.45m <sup>3</sup> 級投入(流用) 埋戻し管上部		0.99 × 0.20 = 0.198 m <sup>3</sup>
BH・0.45m <sup>3</sup> 級投入(流用) 埋戻し		$0.99 \times 1.686 = 1.669 \text{ m}^3$
残土処理		$2.178 - ( 0.198 + 1.669 ) \div 0.9 = 0.103 \text{ m}^3$

## 軽量鋼矢板建込工賃料日数計算書

掘削範囲 (m)	延長 (m)	建込日数(バックホウ) 日/100m (日)	引抜日数(バックホウ) 日/100m (日)	軽金支保工設置日数 人/100m (日)	軽金支保工撤去日数 人/100m (日)	延長1m当り矢板重量 t/m (t)	矢板長 (m)	集計値・能力
1.51~1.80	L1 11.50	t1 1.798	t1' 0.893	b1 1.00	b1' 0.70	W1 0.215	2.0	バックホウ 0.45m3級 Q= 99.0 m3/日 掘削土量全体 C= 24.80 m3 埋戻部全体数量 D5= 20.12 m3
1.81~2.00	L2 2.50							
2.01~2.30	L3 2.50	t2 2.012	t2 0.964	b2 1.80	b2' 1.10	W2 0.268	2.5	
2.31~2.50	L4 2.50							
2.51~2.80	L5 2.50							
2.81~3.00	L6 2.50	t3 2.179	t3 1.060	b3 2.80	b3' 1.70	W3 0.322	3.0	
3.01~3.30	L7 2.50							
3.31~3.50	L8 2.50	t4 2.405	t4 1.155	b3 2.80	b3' 1.70	W4 0.376	3.5	
3.51~3.80	L9 2.50							
ΣL 14.00								

### 1. 掘削及び土留工(a1)

① 掘削日数=掘削土量(C)/バックホウ作業能力(Q) = 24.80 / 99.0 = 0.250 ≒ **0.25** 日

② 矢板建込日数=延長(L1+L2, L3+L4, L5+L6, L7+L8, L9)×設置日数(t1, t2, t3, t4, t5)  
 =(( 11.50 + ) × 0.01798 ) + (( 2.50 + ) × 0.02012 ) + (( + ) × 0.02179 )  
 + (( + ) × 0.02405 ) + ( × 0.02500 ) = 0.257 ≒ **0.26** 日

③ 支保工設置日数=延長(L1+L2, L3+L4+L5+L6+L7+L8, L9)×設置日数(b1, b2, b3)  
 =(( 11.50 + ) × 0.01000 ) + (( 2.50 + + + + ) × 0.01800 )  
 + ( × 0.02800 ) = 0.160 ≒ **0.16** 日

④ 切崩し・床均し日数=掘削土量(C)×切崩し・床均し労務(人/m3)(K)/3人 = 24.800 × 0.040 / 3人 = 0.331 ≒ **0.33** 日

a1 = ① + ② + ③ = 0.25 + 0.26 + 0.16 + 0.33 = 1.00 日

2. 埋戻日数(a4)=埋戻部全体数量(D5)÷33.0m3/日 = 20.12 ÷ 33.0 = 0.609 ≒ 0.61 日

### 3. 土留引抜日数(a5)

① 矢板引抜日数=延長(L1+L2, L3+L4, L5+L6, L7+L8, L9)×引抜日数(t1', t2', t3', t4', t5')  
 =(( 11.50 + ) × 0.00893 ) + (( 2.50 + ) × 0.00964 ) + (( + ) × 0.01060 )  
 + (( + ) × 0.01155 ) + ( × 0.01250 ) = 0.126 ≒ **0.13** 日

② 支保工撤去日数=延長(L1+L2, L3+L4+L5+L6+L7+L8, L9)×撤去労務(b1', b2', b3')  
 =(( 11.50 + ) × 0.00700 ) + (( 2.50 + + + + ) × 0.01100 )  
 + ( × 0.01700 ) = 0.108 ≒ **0.11** 日

a5 = ① + ② = 0.13 + 0.11 = 0.24 日

4. 実供用日数(a0)=a1 + (a4あるいはa5で値の大きい方) = 1.00 + 0.61 = 1.61 日 (※ a4の値を採用)

5. 供用日数(a) = a0 × 30 / 20 = 1.61 × 30 / 20 = 2.41 ≒ 3 日

6. 使用回数(N) = 総延長(L) / 30m = 14.00 / 30 = 1.00 ≒ 1 回

7. 使用重量(W) = 延長(L1, L2+L3, L4+L5, L6, L7+L8) × 設置重量(W1, W2, W3, W4, W5)  
 = ( 11.50 × 0.215 ) + (( + 2.50 ) × 0.268 ) + (( + ) × 0.322 )  
 + (( + ) × 0.376 ) + (( + ) × 0.430 ) = 3.1425 ≒ 3.143

8. 1セット当り重量 = 使用重量(W) × 30m / 総延長(L) = 3.143 × 30 / 30.00 = 3.1430 ≒ 3.143

※切崩し・床均し労務(人/m3)(K) = 0.04 (バックホウ0.45m3級)

# 道路復旧面積集計表

## 管路施設第1号工事

名称		構成別	舗装工				上層路盤工(t=150)	下層路盤工(t=450)	凍上抑制層 (m <sup>2</sup> )	切削工		
			1.4m未満	1.4m～3.0m以下	3.0mを超～6.0m以下	計	2.5m未満	2.5m未満	2.5m未満			
県道A型 (仮復旧) (t=3cm)	本管			214.0		214.0	214.0	107.0				
	取付管			10.9		10.9	10.9	6.4				
	計			224.9		224.9	224.9	113.4				
県道A型 (本復旧) (t=7cm)	本管				363.8	395.9			32.1			
	取付管			9.0		11.4			2.5			
	計			9.0	363.8	407.3			34.6			
名称		構成別	舗装工				上層路盤工(t=100)	下層路盤工(t=450)	凍上抑制層 (m <sup>2</sup> )	切削工		
			1.4m未満	1.4m～3.0m以下	3.0mを超～6.0m以下	計	2.5m未満	2.5m未満	2.5m未満			
県歩乗入無 (仮復旧) (t=3cm)	本管											
	取付管		1.5			1.5	1.5					
	計		1.5			1.5	1.5					
県歩乗入無 (本復旧) (t=3cm)	本管											
	取付管			2.2		2.2						
	計			2.2		2.2						
名称		構成別	舗装工				上層路盤工(t=120)	下層路盤工(t=250)	凍上抑制層 (m <sup>2</sup> )	切削工		
			1.4m未満	1.4m～3.0m以下	3.0mを超～6.0m以下	計	2.5m未満	2.5m未満	2.5m未満			
県歩道第3種道路 (仮復旧)	本管											
	取付管											
	計											
県歩道第3種道路 (本復旧) (t=5cm)	本管											
	取付管											
	計											
名称		構成別	舗装工				上層路盤工	下層路盤工	凍上抑制層 (m <sup>2</sup> )	切削工		
			1.4m未満	1.4m～3.0m以下	3.0mを超～6.0m以下	計	2.5m未満	2.5m未満	2.5m未満			
Co舗装道(本復旧)	本管											
	取付管											
	計											
名称		構成別	舗装工				上層路盤工	下層路盤工	凍上抑制層 (m <sup>2</sup> )	切削工		
			1.4m未満	1.4m～3.0m以下	3.0mを超～6.0m以下	計	2.5m未満	2.5m未満	2.5m未満			
砂利道(本復旧)	本管											
	取付管											
	計											
合計			A=	409.5	m <sup>2</sup>	凍上抑制工(山砂V= m <sup>3</sup> )						
区画線			外側線	L=	109.6	m	外側・中央線					
						本線(左)	107.0	本線(右)		取付(左)		取付(右)
			中央線	L=	107.0	m	文字					
						本線(中央)	107.0	(白・実線・15cm)				



# 本 線 切 削 調 書

管路施設第1号工事

路 線 名	区 間	舗装厚 m	幅 m	延長 m	面積 m <sup>2</sup>	産廃量 m <sup>3</sup>	備 考
幹線1号	M 2 ~ M 4	0.03	0.30	107.00	32.10	0.96	県道A型復旧
計				107.00	32.10	0.96	県道A型復旧
合 計				107.00	32.10	0.96	

軽量鋼矢板建込工賃料日数計算書

掘削範囲 (m)	延長 (m)	建込日数(バックホウ) 日/100m (日)	引抜日数(バックホウ) 日/100m (日)	軽金支保工設置日数 人/100m (日)	軽金支保工撤去日数 人/100m (日)	延長1m当り矢板重量 t/m (t)	矢板長 (m)	集計値・能力	
1.51~1.80	L1	t1 1.798	t1' 0.893	b1 1.00	b1' 0.70	W1 0.215	2.0	バックホウ 0.45m3級 Q= 99.0 m3/日	
1.81~2.00	L2								
2.01~2.30	L3	t2 2.012	t2 0.964	b2 1.80	b2' 1.10	W2 0.268	2.5	掘削土量全体 C= 298.20 m3	
2.31~2.50	L4 60.00								
2.51~2.80	L5								
2.81~3.00	L6	t3 2.179	t3 1.060	b3 2.80	b3' 1.70	W3 0.322	3.0	埋戻部全体数量	
3.01~3.30	L7 47.00								
3.31~3.50	L8	t4 2.405	t4 1.155	W4 0.376	3.5	W5 0.430	4.0	D5= 214.74 m3 仕上げ面積 A1= 96.30 m <sup>2</sup>	
3.51~3.80	L9	t5 2.500	t5' 1.250						
ΣL 107.00									

1. 掘削及び土留工(a1)

① 掘削日数 = 掘削土量(C) / バックホウ作業能力(Q) = 298.20 / 99.0 = 3.012 ≒ 3.01 日

② 矢板建込日数 = 延長(L1+L2, L3+L4, L5+L6, L7+L8, L9) × 設置日数(t1, t2, t3, t4, t5)  
 = (( ) × 0.01798 ) + (( + 60.00 ) × 0.02012 ) + (( + ) × 0.02179 )  
 + (( 47.00 + ) × 0.02405 ) + ( × 0.02500 ) = 2.337 ≒ 2.34 日

③ 支保工設置日数 = 延長(L1+L2, L3+L4+L5+L6+L7+L8, L9) × 設置日数(b1, b2, b3)  
 = (( + ) × 0.01000 ) + (( + 60.00 + + + 47.00 + ) × 0.01800 )  
 + ( × 0.02800 ) = 1.926 ≒ 1.93 日

④ 切崩し・床均し日数 = 掘削土量(C) × 切崩し・床均し労務(人/m3) (K) / 3人 = 298.200 × 0.040 / 3人 = 3.976 ≒ 3.98 日  
 a1 = ① + ② + ③ + ④ = 3.01 + 2.34 + 1.93 + 3.98 = 11.26 日

2. 埋戻日数(a4) = 埋戻部全体数量(D5) ÷ 33.0m3/日 = 214.74 ÷ 33.0 = 6.507 ≒ 6.51 日

3. 土留引抜日数(a5)

① 矢板引抜日数 = 延長(L1+L2, L3+L4, L5+L6, L7+L8, L9) × 引抜日数(t1', t2', t3', t4', t5')  
 = (( + ) × 0.00893 ) + (( + 60.00 ) × 0.00964 ) + (( + ) × 0.01060 )  
 + (( 47.00 + ) × 0.01155 ) + ( × 0.01250 ) = 1.121 ≒ 1.12 日

② 支保工撤去日数 = 延長(L1+L2, L3+L4+L5+L6+L7+L8, L9) × 撤去労務(b1', b2', b3')  
 = (( + ) × 0.00700 ) + (( + 60.00 + + + 47.00 + ) × 0.01100 )  
 + ( × 0.01700 ) = 1.177 ≒ 1.18 日

a5 = ① + ② = 1.12 + 1.18 = 2.30 日

4. 実供用日数(a0) = a1 + (a4あるいはa5で値の大きい方) = 11.26 + 6.51 = 17.77 日 (※ a4の値を採用)

5. 供用日数(a) = a0 × 30 / 20 = 17.77 × 30 / 20 = 26.65 ≒ 27 日

6. 使用回数(N) = 総延長(L) / 30m = 107.00 / 30 = 3.56 ≒ 4 回

7. 使用重量(W) = 延長(L1, L2+L3, L4+L5, L6, L7+L8) × 設置重量(W1, W2, W3, W4, W5)  
 = ( × 0.215 ) + (( + ) × 0.268 ) + (( 60.00 + ) × 0.322 )  
 + (( + 47.00 ) × 0.376 ) + (( + ) × 0.430 ) = 36.9920 ≒ 36.992

8. 1セット当り重量 = 使用重量(W) × 30m / 総延長(L) = 36.992 × 30 / 107.00 = 10.3715 ≒ 10.372

※切崩し・床均し労務(人/m3) (K) = 0.04 (バックホウ0.45m3級)

## 水替日数・ポンプ／釜場設置撤去 計算書

		本管	取付管	合計
全体延長	L	107.00	14.00	121.00
管床部全体数量	D1 (碎石基礎)	14.98		
	(砂基礎)			
管側頂部全体数量	D2	0	4.20	
管上部全体数量	D3	21.40	0	
埋戻部全体数量	D4	178.36		
埋戻部合計	D5=D2+D3+D4	199.76	4.2	203.96

1. 基礎工(a1)				
管床部全体数量・敷均し転圧日数=D1÷97.0m <sup>3</sup> /日 碎石基礎				
		$14.98 \div 97.0 = 0.154 \approx 0.15 \text{ 日}$		
		計 0.15 日		
2. 管布設日数(a2)				
(人力施工) 管布設日数 = 管距延長 × 布設歩掛 / 2人				
(機械施工) 管布設日数 = 管距延長 × 布設歩掛				
人力施工	リブ管150	107.00	× 0.038 / 2 =	2.033 ≈ 2.03 日
人力施工	VU管100	14.00	× 0.025 / 2 =	0.175 ≈ 0.18 日
		人 力 2.21 日 機 械 日 計 2.21 日		
3. 埋戻日数(a3)				
埋戻部全体数量・敷均し転圧日数=D5÷33.0m <sup>3</sup> /日				
		$203.96 \div 33.0 = 6.180 \approx 6.18 \text{ 日}$		
4. 水替日数(a0)				
		$a0 = a1 + a2 + a3 = 8.5 \approx 9 \text{ 日}$		
5. ポンプ及び釜場設置撤去				
全体延長(L) / 50				
		$107.00 / 50 = 2.14 \approx 3 \text{ 箇所}$		
6. 1箇所当り水替日数				
水替日数 / 箇所数				
		$9 / 3 = 3.0 \approx 3 \text{ 日/箇所}$		

# 交通管理工計算書

1. 土留材供用日数(a1)										
		本管								27 日
		計								27 日
2. 附帯工日数計算書(a2)										
工 種	規 格	単 位	数 量				合 計	日当施工量	日 数	
上層路盤工	歩道施工 1層(15cmまで)	m <sup>2</sup>	224.9	1.5			226.5	268	0.85	
	歩道施工 2層(30cmまで)	m <sup>2</sup>						268		
下層路盤工	歩道施工 2層(40cmまで)	m <sup>2</sup>	113.4				113.5	268	0.85	
	歩道施工 3層(60cmまで)	m <sup>2</sup>						268		
仮舗装工(人力施工)	歩道 幅1.4m未満 t=25mm以上~35mm未満	m <sup>2</sup>	224.9	1.5			226.5	250	0.91	
舗装版切断工	As t=15cm以下	m						240		
	Co t=15cm以下	m						150		
舗装版破碎工	t=10cm以下	m <sup>2</sup>						810		
機械掘削	土砂、小規模、標準	m <sup>3</sup>						37		
不陸整正		m <sup>2</sup>	363.8	2.2			366.0	1,580	0.23	
舗装工(機械施工)	車道 幅1.4m以上 t=25mm以上~70mm未満	m <sup>2</sup>	363.8				363.8	2,300	0.16	
	歩道 幅1.4m以上 t=25mm以上~70mm未満	m <sup>2</sup>	2.2				2.2	1,000		
路面切削工	帯状切削 平均h=3cm以下	m <sup>2</sup>	34.6				34.6	1,800	0.02	
区画線工	溶剤・水性ペイント式、自走 実線(加熱・常温)15cm	m	109.6				109.6	8,200	0.01	
	溶融式、手動 実線15cm	m						1,500		
合 計									3.03	
3. 日数(a0)										
a0 = a1 + a2 =			30 日							
交通誘導員	誘導員A		30	×	1	人	≒	30.0	人	
	誘導員B		30	×	1	人	≒	30.0	人	



試験掘工

県道A型

幅 W= 0.91  
 延長 L= 1.50  
 深 H= 1.50

略図  
 No scale



(1箇所当たり)

舗装切断工	$L = (0.9 \times 2 + 1.5 \times 2) \times 1 = 5.0 \text{ m}$
舗装盤破碎工	$A = 0.91 \times 1.50 \times 1 = 1.4 \text{ m}^2$
人力掘削・積込	$V = 0.91 \times 1.50 \times 1.43 \times 1 = 2.0 \text{ m}^3$
埋戻工(土砂)	$V = 0.91 \times 1.50 \times 0.87 \times 1 = 1.2 \text{ m}^3$
埋戻工(路盤用砂)	$V = 0.91 \times 1.50 \times 0.00 \times 1 = 0.0 \text{ m}^3$
残土処理	$V = 2.0 - (1.2 \div 0.9) \times 1 = 0.7 \text{ m}^3$
AS殻運搬・処分	$V = 0.91 \times 1.50 \times 0.07 \times 1 = 0.1 \text{ m}^3$
上層路盤工(C-20)	$A = 0.91 \times 1.50 \times 1 = 1.4 \text{ m}^2$
下層路盤工(RC-40)	$A = 0.91 \times 1.50 \times 1 = 1.4 \text{ m}^2$
舗装仮復旧 (再生密粒度As(13)t=3cm Pコ-ト)	$A = \text{舗装盤破碎工に同じ} = 1.4 \text{ m}^2$

单独

## 工事数量総括表

名 称	種 別		単 位	設計数量	積算数量	摘 要
1. 管路工						
1 開削管路工						
1.1 管路土工						
舗装版切断	舗装版切断	アスファルト版15cm以下	m	589	589	
		コンクリート版15cm以下	m	558	558	
舗装版破砕	舗装版破砕	アスファルト版10cm以下	m <sup>2</sup>	708	708	
		コンクリート版15cm以下	m <sup>2</sup>	418	418	
舗装下掘削(素掘り)			m <sup>3</sup>	41	41	
舗装下掘削(土留め)	バックホ掘削	カロー型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	809	809	
切土面仕上げ	基面整正		m <sup>2</sup>	358	358	
基礎工	砂基礎設置工(機械施工)		m <sup>3</sup>	22	22	
基礎工(RC-40)	砕石基礎設置工(機械施工)		m <sup>3</sup>	43	43	
流用土埋戻し(素掘り)			m <sup>3</sup>	13	13	
流用土埋戻し(土留め)	バックホ掘削・タンバ転圧	カロー型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	514	514	
残土処理	残土処理 運搬距離 L=2.0km	DT10t, BH0.45m <sup>3</sup> 級積込, BD15t整地	m <sup>3</sup>	206	206	
残土処理	玉石処理 運搬距離 L=10.0km	DT10t, BH0.45m <sup>3</sup> 級積込	m <sup>3</sup>	58	58	
1.2 管渠工						
1.2.1 管布設工	リブ付硬質塩化ビニル管設置工	管径150mm、施行規模20m以上、市場単価	m	304.9	305	
埋設物表示シート		ダブル150mm×50m	m	304.9	305	
材料費						
	マンホール用可とう継手	管径150mm	個	8	8	
管布設工	ポリエチレン管布設工	管径50mm、手間のみ	m	104.6	105	
材料費(圧送管)			式	1	1	
埋設物表示シート		ダブル150mm×50m	m	104.6	105	
1.3 マンホール資材						
1号マンホール資材			式	1	1	
1.4 マンホール工						
マンホール設置工	1号マンホール設置工(4箇所以上)	3.0m以下、市場単価	箇所	5	5	
	1号マンホール設置工(4箇所以上)	3.0m超4.0m以下、市場単価	箇所	4	4	
組立式マンホール底部工	1号マンホール		箇所	9	9	
1.5 副管工						
材料費			式	1	1	
外副管設置工	外副管設置工	1.0m未満	箇所	3	3	
型枠	型枠工	小型構造物	m <sup>2</sup>	5.00	5.0	
コンクリート	コンクリートポン車打設	無筋C <sub>o</sub> 18・8・40、W/C=60%以下 一般養生	m <sup>3</sup>	0.70	0.7	
基礎工	基礎砕石工	RC-40規格外 t=200	m <sup>2</sup>	0.60	0.6	

## 工事数量総括表

名 称	種 別	単 位	設計数量	積算数量	摘 要
1.6 公共ます工					
材料費		式	1	1	
公共ます設置工	ます設置工(塩化ビニル製)	φ200 5箇所以上 蓋有	箇所	1	1
	塩ビ製公共ます設置工	深さ1.51m以上 蓋有	箇所	3	3
	塩ビ製公共ます設置工	深さ1.51m以上 蓋無	箇所	1	1
1.7 取付管工					
取付管布設工及び支管取付工	取付管布設工及び支管取付工	φ100、5箇所以上、5m~12m未満 市場単価	箇所	5	15
舗装版切断	舗装版切断	アスファルト版15cm以下	m	44.00	44
舗装版破碎	舗装版破碎	アスファルト版10cm以下	m <sup>2</sup>	49.59	50
舗装下掘削(素掘り)	バックホ掘削	加-ラ型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	2.22	2
舗装下掘削(土留め)	バックホ掘削	加-ラ型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	62.20	62
切土面仕上げ	基面整正		m <sup>2</sup>	22.28	22
流用土埋戻し(素掘り)	バックホ掘削・タンバ転圧	加-ラ型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	0.42	0.4
流用土埋戻し(土留め)	バックホ掘削・タンバ転圧	加-ラ型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	38.77	39
残土処理	残土処理 運搬距離 L=2.0km	DT10t, BH0.45m <sup>3</sup> 級積込, BD15t整地	m <sup>3</sup>	20.86	21
1.8 道路復旧工					
1.8.1 一般市道					
仮復旧	上層路盤工(歩道部)	t=190mm、C-20	m <sup>2</sup>	164.1	164
	下層路盤工(歩道部)	t=450mm、RC-40	m <sup>2</sup>	164.1	164
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、②再生密粒度AS(13)プライム	m <sup>2</sup>	164.1	164
本復旧	不陸整正工		m <sup>2</sup>	358.6	359
	基層工(車道・路肩部)	t=40mm、②再生密粒度AS(13)プライム	m <sup>2</sup>	358.6	359
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、⑤再生密粒度AS(13F)タック	m <sup>2</sup>	409.6	410
1.8.2 県道A型					
仮復旧	上層路盤工(歩道部)	t=150mm、C-20	m <sup>2</sup>	5.0	5
	下層路盤工(歩道部)	t=450mm、RC-40	m <sup>2</sup>	2.5	3
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、②再生密粒度AS(13)プライム	m <sup>2</sup>	5.0	5
本復旧	不陸整正工		m <sup>2</sup>	8.5	9
	基層工(車道・路肩部)	t=40mm、②再生密粒度AS(13)プライム	m <sup>2</sup>	8.5	9
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、⑤再生密粒度AS(13F)タック	m <sup>2</sup>	9.3	9
1.8.3 簡易舗装道(全面)					
仮復旧	上層路盤工(歩道部)	t=120mm、C-20	m <sup>2</sup>	34.6	35
	下層路盤工(歩道部)	t=300mm、RC-40	m <sup>2</sup>	34.6	35
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、②再生密粒度AS(13)プライム	m <sup>2</sup>	34.6	35
本復旧	不陸整正工		m <sup>2</sup>	160.5	161
	基層工(車道・路肩部)	t=50mm、⑤再生密粒度AS(13F)プライム	m <sup>2</sup>	160.5	161
1.8.4 コンクリート舗装道					
本復旧	下層路盤工(歩道部)	t=200mm、RC-40	m <sup>2</sup>	139.4	139
	不陸整正工		m <sup>2</sup>	418.2	418
	コンクリート舗装工(人力)	圧縮強度18N/mm <sup>2</sup> 粗骨材40mm	m <sup>2</sup>	418.2	418
1.8.5 砂利道					
本復旧	上層路盤工(歩道部)	t=100mm、C-20	m <sup>2</sup>	77.2	77
	下層路盤工(歩道部)	t=300mm、RC-40	m <sup>2</sup>	77.2	77
1.8.3 凍上抑制層	バックホ掘削・タンバ転圧	t=200mm、路盤用 砂、加-ラ型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	83.1	83
1.8.4 切削工	アスファルト切削工	t=3cm, W=30cm	m <sup>2</sup>	51.8	52
1.9 産業廃棄物処理工					
産業廃棄物処理工	アスファルト塊	運搬距離 L=10.5km	m <sup>3</sup>	40.00	40
	コンクリート塊	運搬距離 L=10.5km	m <sup>3</sup>	42.00	42
	アスファルト塊(切削材)	運搬距離 L=10.5km	m <sup>3</sup>	1.00	1

## 工事数量総括表

名 称	種 別		単 位	設計数量	積算数量	摘 要
2. 仮設工						
2 管路仮設工						
2.1 排水ポンプ運転						
排水ポンプ工	排水ポンプ運転	口径φ50mm、作業時排水	日	26.00	26	
	排水ポンプ設置撤去		現場	1.00	1	
	釜場設置撤去	釜場掘削・設置	箇所	9.00	9	
2.2 土留工						
本管土留工	軽量鋼矢板建込工(設置・撤去)	掘削深H=2.00m以下、支保工2段	m	171.00	171	
	軽量鋼矢板建込工(設置・撤去)	掘削深H=2.50m以下、支保工2段	m	123.00	123	
	軽量鋼矢板建込工(設置・撤去)	掘削深H=3.00m以下、支保工2段	m	69.00	69	
	軽量鋼矢板賃料	軽量型、軽作業	t	8.730	8.73	
	軽量金属支保工	賃料、修理及び損耗費	式	1.00	1	
取付管土留工	軽量鋼矢板建込工(設置・撤去)	掘削深H=2.50m以下、支保工2段	m	26.00	26	
	軽量鋼矢板賃料	軽量型、軽作業	t	8.370	8.37	
	軽量金属支保工	賃料、修理及び損耗費	式	1.00	1	
2.3 交通管理工						
交通誘導	交通誘導員B		人	110.00	110	
3 間接工事費						
3.1 共通仮設費						
3.1.1 運搬費						
仮設材運搬工	軽量鋼矢板土留材運搬工		t	8.79	8.79	
3.1.2 準備費						
試験掘工	一般市道		箇所	2.00	2	
舗装版切断	舗装版切断	アスファルト版15cm以下	m	5.0	5.0	
舗装版破砕	舗装版破砕	アスファルト版10cm以下	m <sup>2</sup>	1.4	1.4	
舗装下掘削(素掘り)	バックホウ掘削	加-5型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	2.0	2.0	
流用土埋戻し(素掘り)	バックホウ掘削・タンバ転圧	加-5型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	0.9	0.9	
凍上抑制層	バックホウ掘削・タンバ転圧	t=200mm、路盤用 砂、加-5型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	0.3	0.3	
残土処理	残土処理 運搬距離 L=2.0km	DT10t、BH0.45m <sup>3</sup> 級積込、BD15t整地	m <sup>3</sup>	1.0	1.0	
仮復旧	下層路盤工(歩道部)	t=450mm、RC-40	m <sup>2</sup>	1.4	1.4	
	上層路盤工(歩道部)	t=190mm、C-20	m <sup>2</sup>	1.4	1.4	
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、②再生密粒度AS(13)プライム	m <sup>2</sup>	1.4	1.4	
試験掘工	コンクリート道		箇所	1.00	1	
舗装版切断	舗装版切断	アスファルト版15cm以下	m	5.0	5.0	
舗装版破砕	舗装版破砕	アスファルト版10cm以下	m <sup>2</sup>	1.0	1.0	
舗装下掘削(素掘り)	バックホウ掘削	加-5型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	2.0	2.0	
流用土埋戻し(素掘り)	バックホウ掘削・タンバ転圧	加-5型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	0.3	0.3	
残土処理	残土処理 運搬距離 L=2.0km	DT10t、BH0.45m <sup>3</sup> 級積込、BD15t整地	m <sup>3</sup>	1.0	1.0	
仮復旧	下層路盤工(歩道部)	t=450mm、RC-40	m <sup>2</sup>	1.0	1.0	
試験掘工	砂利道		箇所	2.00	2	
舗装下掘削(素掘り)	バックホウ掘削	加-5型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	2.0	2.0	
流用土埋戻し(素掘り)	バックホウ掘削・タンバ転圧	加-5型山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	1.0	1.0	
残土処理	残土処理 運搬距離 L=2.0km	DT10t、BH0.45m <sup>3</sup> 級積込、BD15t整地	m <sup>3</sup>	0.7	0.7	
仮復旧	上層路盤工(歩道部)	t=190mm、C-20	m <sup>2</sup>	1.0	1.0	
	下層路盤工(歩道部)	t=450mm、RC-40	m <sup>2</sup>	1.0	1.0	



管路施設第1号工事

管 路 土 工 総 括 表

工 種		規 格		単 位	数 量	備 考
舗 装 版 切 断		t= 15 cmまで	As	m	589	(舗装版切断調書より) 589.60
		t= 15 cmまで	Co	"	558	(舗装版切断調書より) 557.60
掘 削	舗 装 版	t= 10 cmまで	As	m <sup>2</sup>	708	(舗装版取壊し・積込み・産業廃棄物処理一覧表より) As 707.54
		t= 10 cmまで	Co	"	418	(舗装版取壊し・積込み・産業廃棄物処理一覧表より) Co 418.20
	舗 装 下	BH 0.45m <sup>3</sup> 級 (素掘)		m <sup>3</sup>	41	(管路数量計算書より) 41.30
		BH 0.45m <sup>3</sup> 級 (土留め)		m <sup>3</sup>	809	(管路数量計算書より) 808.79
		大型ブレイカー (土留め)		"		
人 力 切 土 面 仕 上		人 力		m <sup>2</sup>	358	(面仕上計算書より) 358.26
基 礎 工	管床部及び 管側頂部	搬 入 土 ( 砂 )	BH 0.45m <sup>3</sup> 級(素掘)	m <sup>3</sup>	8	(管路数量計算書より) 8.02
			BH 0.45m <sup>3</sup> 級(土留め)	"	14	(管路数量計算書より) 13.65
		搬 入 土 (RC-40)	BH 0.45m <sup>3</sup> 級(素掘)	m <sup>3</sup>		
			BH 0.45m <sup>3</sup> 級(土留め)	"	43	(管路数量計算書より) 43.37
		流 用 土	BH 0.45m <sup>3</sup> 級(素掘)	"		
			BH 0.45m <sup>3</sup> 級(土留め)	"		
埋戻管上部 埋戻部	搬 入 土	BH 0.45m <sup>3</sup> 級 (素掘)		"		
		BH 0.45m <sup>3</sup> 級 (土留め)		"		
	流 用 土	BH 0.45m <sup>3</sup> 級 (素掘)		"	13	(管路数量計算書より) 12.84
		BH 0.45m <sup>3</sup> 級 (土留め)		"	514	(管路数量計算書より) 514.41
産 廃 処 理	舗装(As塊)	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	10tダンプ	"	40	(舗装版取壊し・積込み・産業廃棄物処理、取付管土工集計表より) 38.53 + 1.179 =39.709
	舗装(Co塊)	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	10tダンプ	"	42	(舗装版取壊し・積込み・産業廃棄物処理一覧表より) 41.82
	切 削 (As)	人 力 2tダンプ		"	1	(本線切削調書より) 1.42
残 土 処 理	舗 装 下	BH 0.45m <sup>3</sup> 級 10tダンプ		"	206	(管路数量計算書より) 264.21 - 58.13 =206.08 (岩石分差引)
		BH 0.80m <sup>3</sup> 級 10tダンプ		"	58	岩石処分 581.27 × 10% =58.127 (路盤以外の掘削土量 × 10%)







## 管 路 数 量 計 算 書

路線名	マンホール No.	単 距 (管 距)	地盤高	管底高	土被り	掘削深 (管体迄)	平均 掘削深	掘削深	道 路 管 種	掘 削 土 量				残 土	埋 戻 し				土留工	機 種 掘削幅	
										仮復旧時	本復旧時	路盤以外	掘削土量 計		流用土	搬入土	流用土	搬入土			
										上層	上層影響				埋 戻	埋 戻	管側頂	管側頂			
										下層	上・下層				管 上	管 上	管 床	管 床			
砂基礎		砂基礎		計		計		計		計											
支線1	M39	52.50	143.72	140.213	3.34	3.51	2.39	2.49	一般市道	7.87				65.62				2.10	軽量鋼矢 板(4)	0.45m3級	
	M39+52.5	( 52.05 )	139.40	138.131	1.10	1.27			リブ管150	23.62	2.10	85.05	129.14	44.56	10.50						5.25
										10.50						76.12					
路線計		52.50 ( 52.05 )								7.87				65.62				2.10			
										23.62	2.10	85.05	129.14	44.56	10.50				5.25		
										10.50				76.12				7.35			
支線2	M40	63.80	139.93	136.757	3.01	3.18	3.12	3.22	市砂利道復旧	6.38				143.55				2.55	軽量鋼矢 板(7)	0.45m3級	
	M40+63.8	( 63.35 )	139.63	136.567	2.90	3.07			リブ管150	19.14		167.15	205.43	31.75	12.76						6.38
										12.76						156.31					
支線2	M40+63.8	5.20	139.63	136.567	2.90	3.07	3.06	3.16	一般市道	0.78				9.98				0.20	軽量鋼矢 板(7)	0.45m3級	
	M41	( 4.75 )	139.60	136.553	2.88	3.05			リブ管150	2.34	0.20	11.90	16.26	4.01	1.04						0.52
										1.04						11.02					
路線計		69.00 ( 68.10 )								7.16				153.53				2.75			
										21.48	0.20	179.05	221.69	35.76	13.80				6.90		
										13.80				167.33				9.65			
支線3	M41	50.00	139.60	138.343	1.19	1.26	1.42	1.52	一般市道	7.50				9.00				8.00	軽量鋼矢 板(1)	0.45m3級	
	M41+50.0	( 49.55 )	143.34	141.746	1.53	1.59			ホリ管50圧送	22.50	2.00	32.50	74.50	53.38	10.00						5.00
										10.00						19.00					
路線計		50.00 ( 49.55 )								7.50				9.00				8.00			
										22.50	2.00	32.50	74.50	53.38	10.00				5.00		
										10.00				19.00				13.00			
支線2-1	M2-1	53.50	136.00	134.943	1.00	1.06	1.22	1.32	簡易舗装道	3.21				6.42				4.81	OPEN	0.45m3級	
	M2-1+53.5	( 53.05 )	139.73	138.346	1.32	1.38			ホリ管50圧送	9.63	0.64	21.40	41.30	27.03	6.42						3.21
										6.42						12.84					
支線2-1	M2-1+53.5	2.50	139.73	138.346	1.32	1.38	1.47	1.57	県道A型復旧	0.55				1.17				0.40	軽量鋼矢 板(1)	0.45m3級	
	M2	( 2.05 )	139.91	138.346	1.50	1.56			ホリ管50圧送	1.12	0.20	2.35	4.22	2.36	0.50						0.25
																1.67					
路線計		56.00 ( 55.10 )								3.76				7.59				5.21			
										10.75	0.84	23.75	45.52	29.39	6.92				3.46		
										6.42				14.51				8.67			
支線12-1	M12-1	62.00	153.65	150.301	3.18	3.35	2.29	2.39	コンクリート舗装復旧	6.20	6.20			100.44				2.48	軽量鋼矢 板(4)	0.45m3級	
	M12-2	( 61.10 )	149.39	148.163	1.06	1.23			リブ管150	12.40		123.38	148.18	22.80	12.40						6.20
																112.84					
支線12-1	M12-2	47.00	149.39	147.463	1.76	1.93	1.57	1.67	コンクリート舗装復旧	4.70	4.70			42.30				1.88	軽量鋼矢 板(1)	0.45m3級	
	M12-3	( 46.10 )	145.40	144.190	1.05	1.22			リブ管150	9.40		59.69	78.49	21.04	9.40						4.70
																51.70					
支線12-1	M12-3	30.40	145.40	143.590	1.65	1.82	1.81	1.91	コンクリート舗装復旧					34.65				1.21	軽量鋼矢 板(2)	0.45m3級	
	M12-3+30.4	( 29.95 )	143.99	142.182	1.64	1.81			リブ管150	3.04	3.04	45.90	58.06	12.80	6.08						3.04
																40.73					
路線計		139.40 ( 137.15 )								13.94	13.94	228.97	284.73	56.64	177.39				5.57		
										27.88				205.27				13.94			
										6.15	1.64	42.23	76.67	37.49	27.06				1.64	軽量鋼矢 板(2)	0.45m3級
支線4	M42	41.00	139.99	137.766	2.06	2.23	1.80	1.90	一般市道	18.45				8.20				4.10	軽量鋼矢 板(2)	0.45m3級	
	M43	( 40.10 )	136.28	134.919	1.20	1.37			リブ管150	8.20		42.23	76.67	37.49	35.26						5.74



## リブ管管渠延長内訳表

管路施設第1号工事

管 径 (mm)	区間延長 (m)	管渠延長 (m)	可とう継手 下流	可とう継手 上流	リブ直管延長 (m)	リブRB管 1.045m×12mR(5°)		リブRB管 2.095m×12mR(10°)		リブRB管 2.160m×5.5mR(22.5°)		マンホール延長 (m)	埋設表示シート 延長 (m)
			個数(個)	個数(個)		箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)		
φ150	309.900	304.950	7	1	300.765	2	2.090	1	2.095			4.950	304.950
φ200													
φ250													
計	309.900	304.950	7	1	300.765	2	2.090	1	2.095			4.950	304.950

## リブ管管渠調査延長内訳表

管 径 (mm)	RB管区間管渠延長 (m)	直線区間管渠延長 (m)	計 (m)	備 考
φ150		304.950	304.950	
φ200				
φ250				
計		304.950	304.950	(カメラ調査延長 L= 304.950 m)



弥生地区

# 圧送管調書

管路施設第1号工事

路線名	測点	管路延長	管渠延長	タイプ	圧送 口径 (mm)	継手等												直管延長	埋設シート	管明示 テープ	波付硬質合 成樹脂管 50mm(延長×3本)
						末端継手		中間継手		可とう管		ベンド管		橋梁添架		SUS管等	小計				
						個数	延長	個数	延長	個数	延長	個数	延長	個数	延長						
支線3	M 41 ~ M 41 + 50	50.00	49.55	下水用	50	1	0.2			1	0.35					0.25	0.80	48.75	49.55	22.96	30.0
支線2-1	M 2-1 ~ M 2	56.00	55.10	下水用	50	1	0.2			1	0.35					0.25	0.80	54.30	55.10	25.57	30.0
計		106.00	104.65			2	0.40			2	0.70					0.50	1.60	103.05	104.65	48.53	60.0

# 圧送管調書 (ベンド管)

路線名	測点	管路延長	管渠延長	タイプ	圧送 口径 (mm)	ベンド管										備考							
						11-1/4度		22-1/2度		45度		90度		中間継手			計						
						個数	延長	個数	延長	個数	延長	個数	延長	個数	延長		個数	延長					

継手工 (1口) = 直管21本 = 21箇所

マンホール歩掛集計表

区分		箇所数			
1号	～3.00m	5			
	3.01m～4.00m	4			
	4.01m～5.00m				
2号	～2.00m				
	2.01m～3.00m				
	3.01m～4.00m				
	4.01m～5.00m				
	5.01m～6.00m				
計		9			





# 外部副管工調書

マンホール 番号	本管径	落差	段差	副管用90度支管		接着受口カー-		プリント直管		副管用90度曲管		副管径 φ	巻立コンクリート			型枠工	コンクリート工	基礎砕石工	備 考
				150*100	200*150	φ 100	φ 150	φ 100	φ 150	φ 100	φ 150		幅 (W)	長 (L)	高 (H)				
M12-2	150	0.700	1.0m未満	1		1		0.369		1		100	0.370	0.500	1.253	1.716	0.213	0.185	
M12-3	150	0.600	1.0m未満	1		1		0.269		1		100	0.370	0.500	1.153	1.579	0.196	0.185	
M43	150	0.888	1.0m未満	1		1		0.557		1		100	0.370	0.500	1.441	1.974	0.246	0.185	
計				3		3		1.195 m 1.000 本		3						5.269 m <sup>2</sup>	0.655 m <sup>2</sup>	0.555 m <sup>2</sup>	

汚水柵・取付管集計表(全体)

汚水柵総箇所数 5 箇所

弥生地区管路施設第1号工事

取付管総延長 29.50 m

汚水柵集計

基礎砂

5箇所 × 0.03 = 0.15

※1.5m以下 市場単価  
※1.5m超 積上げ

内積上げ分

0.15 m<sup>3</sup>      0.12 m<sup>3</sup>

汚水柵設置労務

	箇所数
H ≤ 1.0	1
H ≤ 1.5	
H > 1.5	4

市場単価計上分

1 箇所

内積上げ分

4 箇所

汚水柵部材数量

名称	蓋名	蓋区分	保護蓋	蓋厚さ	数量	立上り管 VU200mm
縦型	ミカゲ蓋	宅内	無し	0.23		
	t-8蓋	一般	有り	0.34		
	t-25蓋	大型	有り	0.34		
横型	ミカゲ蓋	宅内	無し	0.23	1	2.57
	t-8蓋	一般	有り	0.34	4	6.14
	t-25蓋	大型	有り	0.34		

保護蓋数量(材料費：積上げ、労務費市場単価)

大型車用      箇所  
一般車用      箇所

VU200mm本数 (4m/本)

8.71m ÷ 4.0m = 2.1      内積上げ分  
2.1 本      2 本

取付管集計

※市場単価

平均延長 5.90 m

曲管数量

曲管種別	部材長	数量	延長
15° 自在	0.2		
30°	0.2		
45°	0.2		
90° ベント	0.9		
30° 自在	0.2		
60° 自在	0.2		
計			

直管 φ100 4.0m/本

29.50m - 0.00m = 29.50

29.50 m

29.50m / 4m = 7.3本

8.0 本

支管数量

支管種別	数量
150*100	
200*100	
250*100	
300*100	
350*100	
400*100	











管路施設第1号工事

取付管土工総括表

工 種		規 格		数 量							合 計	備 考							
舗 装 版 切 断		アスファルト舗装版 t=10cm 以下		別途計算書より計上							44.00	m							
取 壊 ・ 積 込 み		アスファルト舗装版 t=10cm 以下																49.59	m <sup>2</sup>
掘 削	機 械 掘 削	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)	1.89		0.33					2.22	m <sup>3</sup>							
			(土留め)	55.07	7.13						62.20	"							
切 土 面 仕 上		人 力		1.80	20.48						22.28	m <sup>2</sup>							
基 礎 工	管 床 部 及 び 管 側 頂 部	搬 入 土 ( 砂 )	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)	0.53	0.09					0.62	m <sup>3</sup>							
				(土留め)	6.90	0.90					7.80	"							
											"								
埋 戻 工	埋 戻 管 上 部 埋 戻 し	流 用 土	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)	0.36	0.06					0.42	"							
				(土留め)	4.55	0.60	28.02	5.60			38.77	"							
		搬 入 土 ( 砂 )	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)	凍上抑制層(道路復旧にて計上)							"							
				(土留め)								"							
産 廃 処 理	舗 装 (As 塊)	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	10tダンプ	別途計算書より計上							"								
	舗 装 (Co 塊)	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	10tダンプ															"	
	切 削 (As)	人 力	2tダンプ															"	
残 土 処 理	舗 装 下	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	10tダンプ	1.49	18.87	0.26	0.24				20.86	"							

管路施設第1号工事

取付管土工集計表

工 種		規 格		単 位	数 量						合 計	備 考			
道 路 区 分					簡易舗装道(素掘)	一般市道(土留め)	市砂利道(土留め)								
延 長		道路部		m	3.00	8.50	14.50					26.00			
		宅地部		"	0.50	2.00	1.00					3.50			
舗 装 版 切 断				"	別途計算書より計上										
取 壊 ・ 積 込 み				m <sup>2</sup>	別途計算書より計上										
掘 削	機 械 掘 削	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)	m <sup>3</sup>	1.89							1.89	道路部		
			(土留め)	"		19.18	35.89					55.07	道路部		
	機 械 掘 削 (影 響 幅)	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)	"										道路部	
			(土留め)	"	0.33							0.33	宅地部		
機 械 掘 削 (宅 地 分)	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)	"										宅地部		
		(土留め)	"		4.65	2.48					7.13	宅地部			
切 土 面 仕 上		人 力		(素掘)	m <sup>2</sup>	1.80						1.80	道路部		
				(土留め)	"		7.57	12.91					20.48	道路部	
基 礎 工	管 床 部 及 び 管 側 頂 部	搬 入 土 ( 砂 )	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)	m <sup>3</sup>	0.53						0.53	道路部		
				(土留め)	"		2.55	4.35					6.90	道路部	
				(素掘)	"	0.09							0.09	宅地部	
				(土留め)	"		0.60	0.30					0.90	宅地部	
埋 戻 工	埋 戻 管 上 部	流 用 土	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)	"	0.36						0.36	道路部		
				(土留め)	"		1.68	2.87					4.55	道路部	
				(素掘)	"	0.06							0.06	宅地部	
				(土留め)	"		0.40	0.20					0.60	宅地部	
埋 戻 し		搬 入 土 ( 砂 )	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)	"	凍上抑制層(道路復旧にて計上)							道路部		
				(土留め)	"								道路部		
		流 用 土	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	(素掘)	"										道路部
				(土留め)	"		8.13	19.89					28.02	道路部	
				(素掘)	"										宅地部
				(土留め)	"		3.63	1.97					5.60	宅地部	
産 廃 処 理	舗 装 (As 塊)	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	10tダンプ	"	別途計算書より計上										
	舗 装 (Co 塊)	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	10tダンプ	"											
	切 削 (As)	人 力	2tダンプ	"											
残 土 処 理	舗 装 下	BH 0.45m <sup>3</sup> 級	10tダンプ	(素掘)	"	1.49						1.49	道路部		
		BH 0.45m <sup>3</sup> 級	10tダンプ	(土留め)	"		8.28	10.59				18.87	道路部		
		BH 0.45m <sup>3</sup> 級	10tダンプ	(素掘)	"	0.26						0.26	宅地部		
		BH 0.45m <sup>3</sup> 級	10tダンプ	(土留め)	"		0.17	0.07				0.24	宅地部		

# 取付管土工集計表

舗装区分：As

復旧名	舗装盤切断延長：m				開削面積：㎡								復旧面積：㎡						産廃 処理量 ㎡	舗装区分：As		
					仮復旧			本復旧					仮復旧		本復旧					道路部 延長 m	宅地部 延長 m	
	舗装盤カッター規格別				舗装	上層	下層	表層	基層	上層	下層	舗装	上層	下層	表層	基層	上層	下層		切削 面積	素掘 土留 合計	素掘 土留 合計
	t=10cm	t=15cm	t=20cm	t=25cm																		
一般市道	15.00	15.00			7.42	7.42	7.42	13.93	13.93			7.42	7.42	13.93	13.93			4.02	1.06	8.50	2.00	
砂利道						13.36	13.36					13.36	13.36							14.50	1.00	
簡易舗装道	5.00	5.00			2.47	2.47	2.47					2.47	2.47						0.123	3.00	0.50	
合計	20.00	20.00			9.89	23.25	23.25	13.93	13.93			23.25	23.25	13.93	13.93			4.02	1.18	26.00	3.50	

※復旧面積のアスファルト舗装部は、開削幅により歩掛が異なるため、歩掛毎に集計を分けている。





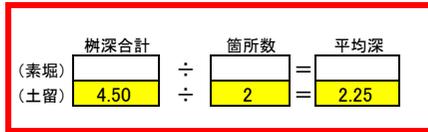
# 取 付 管 土 工

弥生地区  
復旧区分：一般市道[As]

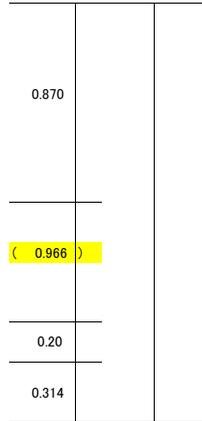
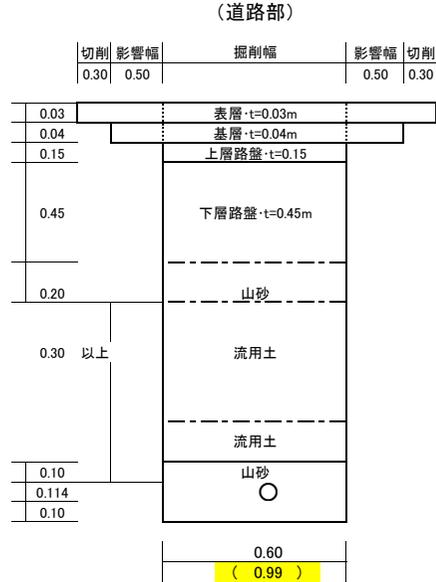
宅 番 地 号	測 点	本線掘削 幅/2	舗装 区分	延 長	仮 復 旧 時				本 復 旧 時					切削面 積 (舗 装)	舗装盤 切 断 本数 延長	産 廃 処 理 量	備 考
					開削幅	取壊面積	復旧面積	舗装盤 切 断	開削幅	取壊面積		復旧面積					
					道路部	舗装	舗装	舗装	舗装	舗装	路盤	舗装	路盤				
					宅地部	上層	上層	上層	本数	上層	表層	上層	表層				
計	下層	下層	下層	延長	下層	基層	下層	基層	下層								
27	M41+直結	0.50	As	8.00	0.990	7.42	7.42		1.990					4.02	2	1.056	半面反対側
				1.00	0.990	7.42	7.42	2		13.93					2		
				9.00	0.990	7.42	7.42	15.00		13.93					14.00		
				8.00		7.42	7.42										
				1.00		7.42	7.42			13.93				4.02		1.056	
				9.00		7.42	7.42	15.00		13.93					14.00		



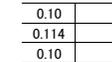
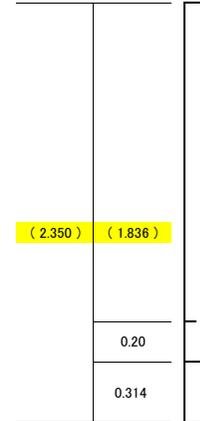
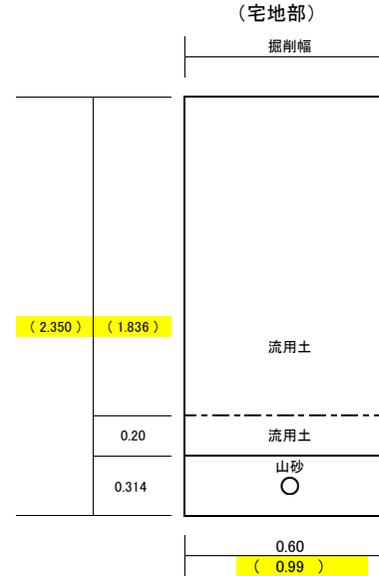
# 取付管土工(一般市道)数量計算書



※( )は土留の場合  
 ※平均掘削深=平均汚水掘削深+0.1(砂基礎厚)



( 2.350 )



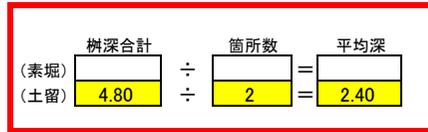
1 m 当り算出

工種	素堀	土留
舗装版切断 取壊・積込み		別途計算書より計上
機械掘削 (BH-0.45m <sup>3</sup> 級)		( 2.350 - 0.07 ) × 0.99 = 2.257 m <sup>3</sup>
機械掘削(影響幅) (BH-0.45m <sup>3</sup> 級)		
切土面仕上げ		1.00 × 0.89 = 0.890 m <sup>2</sup>
BH-0.45m <sup>3</sup> 級投入 基礎砂・管床側頂部		0.99 × 0.314 - { ( 3.14 × 0.114 × 0.114 ) ÷ 4 } = 0.3 m <sup>3</sup>
BH-0.45m <sup>3</sup> 級投入(流用) 埋戻し管上部		0.99 × 0.20 = 0.198 m <sup>3</sup>
BH-0.45m <sup>3</sup> 級投入(流用) 埋戻し		0.99 × 0.966 = 0.956 m <sup>3</sup>
BH-0.45m <sup>3</sup> 級投入(山砂) 埋戻し		凍上抑制層(道路復旧にて計上)
BH-0.45m <sup>3</sup> 級投入 残土処理		2.257 - ( 0.198 + 0.956 ) ÷ 0.9 = 0.974 m <sup>3</sup>
BH-0.45m <sup>3</sup> 級投入 残土処理		

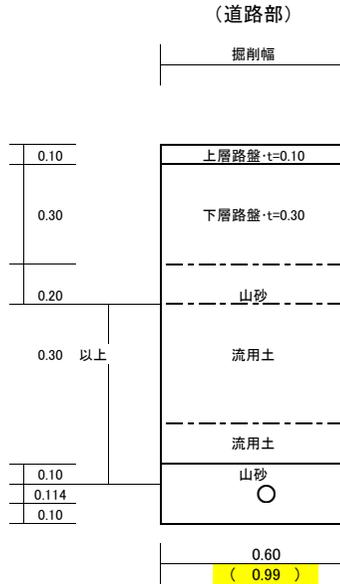
1 m 当り算出

工種	素堀	土留
機械掘削 (BH-0.45m <sup>3</sup> 級)		0.99 × 2.35 = 2.326 m <sup>3</sup>
BH-0.45m <sup>3</sup> 級投入 基礎砂・管床側頂部		0.99 × 0.314 - { ( 3.14 × 0.114 × 0.114 ) ÷ 4 } = 0.3 m <sup>3</sup>
BH-0.45m <sup>3</sup> 級投入(流用) 埋戻し管上部		0.99 × 0.20 = 0.198 m <sup>3</sup>
BH-0.45m <sup>3</sup> 級投入(流用) 埋戻し		0.99 × 1.836 = 1.817 m <sup>3</sup>
残土処理		2.326 - ( 0.198 + 1.817 ) ÷ 0.9 = 0.087 m <sup>3</sup>

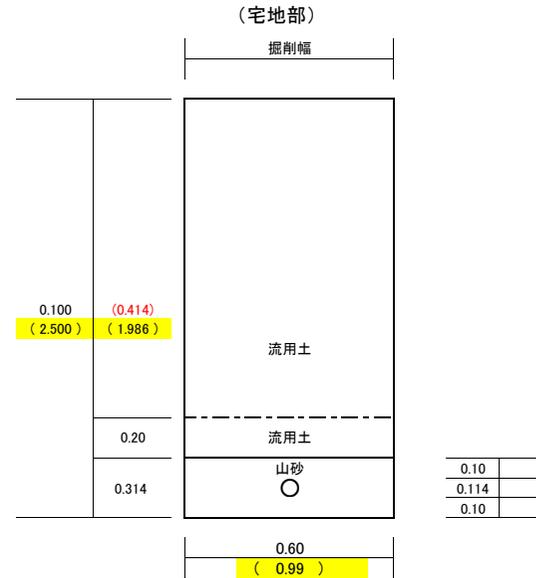
# 取付管土工(市砂利道)数量計算書



※( )は土留の場合  
 ※平均掘削深=平均汚水樹深+0.1(砂基礎厚)



	0.600		
(1.014)	0.100	( 2.500 )	
( 1.386 )			
0.20			
0.314			



	0.100		
(2.500)	(0.414)	( 1.986 )	
0.20			
0.314			

1 m 当り算出

工 種	素 堀	土 留	
舗装版切断 取壊・積込み			別途計算書より計上
機械掘削 (BH-0.45m <sup>3</sup> 級)		( 2.500 - 0 )	× 0.99 = 2.475 m <sup>3</sup>
機械掘削(影響幅) (BH-0.45m <sup>3</sup> 級)		0	× 0.10 = 0 m <sup>3</sup>
切土面仕上げ		1.00	× 0.89 = 0.890 m <sup>2</sup>
BH-0.45m <sup>3</sup> 級投入 基礎砂・管床側頂部		0.99 × 0.314 - 0.114 × 0.114	{ ( 3.14 × 4 ) } ÷ = 0.3 m <sup>3</sup>
BH-0.45m <sup>3</sup> 級投入(流用) 埋戻し管上部		0.99	× 0.20 = 0.198 m <sup>3</sup>
BH-0.45m <sup>3</sup> 級投入(流用) 埋戻し		0.99	× 1.386 = 1.372 m <sup>3</sup>
BH-0.45m <sup>3</sup> 級投入(山砂) 埋戻し			凍上抑制層(道路復旧にて計上)
BH-0.45m <sup>3</sup> 級投入 残土処理		2.475 -	( 0.198 + 1.372 ) ÷ 0.9 = 0.73 m <sup>3</sup>
BH-0.45m <sup>3</sup> 級投入 残土処理			= 0 m <sup>3</sup>

1 m 当り算出

工 種	素 堀	土 留	
人力掘削		0.99	× 2.50 = 2.475 m <sup>3</sup>
人力投入 基礎砂・管床側頂部		0.99 × 0.314 - 0.114 × 0.114	{ ( 3.14 × 4 ) } ÷ = 0.3 m <sup>3</sup>
人力投入(流用) 埋戻し管上部		0.99	× 0.20 = 0.198 m <sup>3</sup>
人力投入(流用) 埋戻し		0.99	× 1.986 = 1.966 m <sup>3</sup>
残土処理		2.475 -	( 0.198 + 1.966 ) ÷ 0.9 = 0.07 m <sup>3</sup>



## 軽量鋼矢板建込工賃料日数計算書

掘削範囲 (m)	延長 (m)	建込日数(バックホウ) 日/100m (日)	引抜日数(バックホウ) 日/100m (日)	軽金支保工設置日数 人/100m (日)	軽金支保工撤去日数 人/100m (日)	延長1m当り矢板重量 t/m (t)	矢板長 (m)	集計値・能力
1.51~1.80	L1	t1 1.798	t1' 0.893	b1 1.00	b1' 0.70	W1 0.215	2.0	バックホウ 0.45m3級 Q= 99.0 m3/日 掘削土量全体 C= 62.20 m3 埋戻部全体数量 D5= 46.57 m3
1.81~2.00	L2							
2.01~2.30	L3							
2.31~2.50	L4 26.00	t2 2.012	t2 0.964	b2 1.80	b2' 1.10	W2 0.268	2.5	
2.51~2.80	L5							
2.81~3.00	L6	t3 2.179	t3 1.060			W3 0.322	3.0	
3.01~3.30	L7	t4 2.405	t4 1.155	b3 2.80	b3' 1.70	W4 0.376	3.5	
3.31~3.50	L8					W5 0.430	4.0	
3.51~3.80	L9	t5 2.500	t5' 1.250					
ΣL 26.00								

### 1. 掘削及び土留工(a1)

- ① 掘削日数=掘削土量(C)÷バックホウ作業能力(Q) = 62.20 ÷ 99.0 = 0.628 ≒ **0.63** 日
- ② 矢板建込日数=延長(L1+L2、L3+L4、L5+L6、L7+L8、L9)×設置日数(t1、t2、t3、t4、t5)  
 =(( + )× 0.01798 )+(( + 26.00 )× 0.02012 )+(( + )× 0.02179 )  
 +(( + )× 0.02405 )+( × 0.02500 )= 0.523 ≒ **0.52** 日
- ③ 支保工設置日数=延長(L1+L2、L3+L4+L5+L6+L7+L8、L9)×設置日数(b1、b2、b3)  
 =(( + )× 0.01000 )+(( + 26.00 + + + )× 0.01800 )  
 +( × 0.02800 )= 0.468 ≒ **0.47** 日
- ④ 切崩し・床均し日数=掘削土量(C)×切崩し・床均し労務(人/m3)(K)÷3人 = 62.200 × 0.040 ÷ 3人 = 0.829 ≒ **0.83** 日
- a1=①+②+③ = 0.63 + 0.52 + 0.47 + 0.83 = 2.45 日

### 2. 埋戻日数(a4)=埋戻部全体数量(D5)÷33.0m3/日 = 46.57 ÷ 33.0 = 1.411 ≒ 1.41 日

### 3. 土留引抜日数(a5)

- ① 矢板引抜日数=延長(L1+L2、L3+L4、L5+L6、L7+L8、L9)×引抜日数(t1'、t2'、t3'、t4'、t5')  
 =(( + )× 0.00893 )+(( + 26.00 )× 0.00964 )+(( + )× 0.01060 )  
 +(( + )× 0.01155 )+( × 0.01250 )= 0.250 ≒ **0.25** 日
- ② 支保工撤去日数=延長(L1+L2、L3+L4+L5+L6+L7+L8、L9)×撤去労務(b1'、b2'、b3')  
 =(( + )× 0.00700 )+(( + 26.00 + + + )× 0.01100 )  
 +( × 0.01700 )= 0.286 ≒ **0.29** 日
- a5=①+② = 0.25 + 0.29 = 0.54 日

### 4. 実供用日数(a0)=a1 + (a4あるいはa5で値の大きい方) = 2.45 + 1.41 = 3.86 日 (※ a4の値を採用)

### 5. 供用日数(a) = a0 × 30 ÷ 20 = 3.86 × 30 ÷ 20 = 5.79 ≒ 6 日

### 6. 使用回数(N) = 総延長(L) ÷ 30m = 26.00 ÷ 30 = 1.00 ≒ 1 回

### 7. 使用重量(W) = 延長(L1、L2+L3、L4+L5、L6、L7+L8) × 設置重量(W1、W2、W3、W4、W5) =( × 0.215 )+(( + )× 0.268 )+(( 26.00 + )× 0.322 ) +(( + )× 0.376 )+(( + )× 0.430 )= 8.3720 ≒ 8.372

### 8. 1セット当り重量=使用重量(W) × 30m ÷ 総延長(L) = 8.372 × 30 ÷ 30.00 = 8.3720 ≒ 8.372

※切崩し・床均し労務(人/m3)(K) = 0.04 (バックホウ0.45m3級)

# 道路復旧面積集計表

## 管路施設第1号工事

名称		構成別	舗装工				上層路盤工(t=150)	下層路盤工(t=450)	凍上抑制層 (m <sup>2</sup> )	切削工
			1.4m未満	1.4m～3.0m以下	3.0mを超～6.0m以下	計	2.5m未満	2.5m未満	2.5m未満	
一般市道(仮復旧) (仮復旧) (t=3cm)	本管		156.7			156.7	156.7	156.7	156.7	
	取付管		7.4			7.4	7.4	7.4	7.4	
	計		164.1			164.1	164.1	164.1	164.1	
一般市道(本復旧) (本復旧) (t=7cm)	本管			344.7		344.7				47.0
	取付管			13.9		13.9				4.0
	計			358.6		358.6				51.0

名称		構成別	舗装工				上層路盤工(t=100)	下層路盤工(t=450)	凍上抑制層 (m <sup>2</sup> )	切削工
			1.4m未満	1.4m～3.0m以下	3.0mを超～6.0m以下	計	2.5m未満	2.5m未満	2.5m未満	
県道A型(仮復旧) (仮復旧) (t=3cm)	本管			5.0		5.0	5.0	2.5		
	取付管									
	計			5.0		5.0	5.0	2.5		
県道A型(本復旧) (本復旧) (t=7cm)	本管				8.5	8.5				0.8
	取付管									
	計				8.5	8.5				0.8

名称		構成別	舗装工				上層路盤工(t=120)	下層路盤工(t=250)	凍上抑制層 (m <sup>2</sup> )	切削工
			1.4m未満	1.4m～3.0m以下	3.0mを超～6.0m以下	計	2.5m未満	2.5m未満	2.5m未満	
簡易舗装道(仮復旧) (仮復旧) (t=3cm)	本管		32.1			32.1	32.1	32.1	32.1	
	取付管		2.5			2.5	2.5	2.5	2.5	
	計		34.6			34.6	34.6	34.6	34.6	
簡易舗装道(本復旧) (本復旧) (t=5cm)	本管			160.5		160.5				
	取付管									
	計			160.5		160.5				

名称		構成別	舗装工				上層路盤工	下層路盤工	凍上抑制層 (m <sup>2</sup> )	切削工
			1.4m未満	1.4m～3.0m以下	3.0mを超～6.0m以下	計	2.5m未満	2.5m未満	2.5m未満	
Co舗装道(本復旧)	本管			418.2		418.2		139.4	139.4	
	取付管									
	計			418.2		418.2		139.4	139.4	

名称		構成別	舗装工				上層路盤工	下層路盤工	凍上抑制層 (m <sup>2</sup> )	切削工
			1.4m未満	1.4m～3.0m以下	3.0mを超～6.0m以下	計	2.5m未満	2.5m未満	2.5m未満	
砂利道(本復旧)	本管						63.8	63.8	63.8	
	取付管						13.4	13.4	13.4	
	計						77.2	77.2	77.2	

合計	A=	997.6	m <sup>2</sup>	凍上抑制工(山砂V=	83.1	m <sup>3</sup> )
----	----	-------	----------------	------------	------	------------------

区画線	外側線 L=	m	外側・中央線				文字 (白・実線・15cm)
			本線(左)	本線(右)	取付(左)	取付(右)	
			中央線 L=	m	本線(中央)		



# 本 線 切 削 調 書

管路施設第1号工事

路 線 名	区 間	舗装厚 m	幅 m	延長 m	面積 m <sup>2</sup>	産廃量 m <sup>3</sup>	備 考
支線1号	M 39 ~ M 39 + 52.5	0.03	0.30	52.50	15.75	0.47	一般市道復旧
支線2号	M 40 + 63.8 ~ M 41	0.03	0.30	5.20	1.56	0.04	一般市道復旧
支線3号	M 41 ~ M 41 + 50.0	0.03	0.30	50.00	15.00	0.45	一般市道復旧
支線2-1号	M 2-1 + 53.5 ~ M 2	0.03	0.30	2.50	0.75	0.02	県道A型復旧
支線4号	M 42 ~ M 43 + 8.0	0.03	0.30	49.00	14.70	0.44	一般市道復旧
				156.70	47.01	1.40	一般市道復旧
計				2.50	0.75	0.02	県道A型復旧
合 計				159.20	47.76	1.42	

### 軽量鋼矢板建込工賃料日数計算書

掘削範囲 (m)	延長 (m)	建込日数(バックホウ) 日/100m (日)	引抜日数(バックホウ) 日/100m (日)	軽金支保工設置日数 人/100m (日)	軽金支保工撤去日数 人/100m (日)	延長1m当り矢板重量 t/m (t)	矢板長 (m)	集計値・能力
1.51~1.80	L1 99.50	t1 1.798	t1' 0.893	b1 1.00	b1' 0.70	W1 0.215	2.0	バックホウ 0.45m3級
1.81~2.00	L2 71.40							Q= 99.0 m3/日
2.01~2.30	L3 8.00	t2 2.012	t2 0.964	b2 1.80	b2' 1.10	W2 0.268	2.5	掘削土量全体
2.31~2.50	L4 114.50							C= 808.79 m3
2.51~2.80	L5							埋戻部全体数量
2.81~3.00	L6	t3 2.179	t3 1.060	b3 2.80	b3' 1.70	W3 0.322	3.0	D5= 571.43 m3
3.01~3.30	L7 69.00							
3.31~3.50	L8	t4 2.405	t4 1.155	b3' 1.70	b3' 1.70	W4 0.376	3.5	A1= 326.16 m <sup>2</sup>
3.51~3.80	L9							
ΣL 362.40								

1. 掘削及び土留工(a1)

① 掘削日数 = 掘削土量(C) / バックホウ作業能力(Q) = 808.79 / 99.0 = 8.169 ≒ 8.17 日

② 矢板建込日数 = 延長(L1+L2, L3+L4, L5+L6, L7+L8, L9) × 設置日数(t1, t2, t3, t4, t5)  
 = ((99.50 + 71.40) × 0.01798) + ((8.00 + 114.50) × 0.02012) + ((69.00 + ) × 0.02179)  
 + (( ) × 0.02405) + ( × 0.02500) = 7.196 ≒ 7.20 日

③ 支保工設置日数 = 延長(L1+L2, L3+L4+L5+L6+L7+L8, L9) × 設置日数(b1, b2, b3)  
 = ((99.50 + 71.40) × 0.01000) + ((8.00 + 114.50 + + 69.00 + ) × 0.01800)  
 + ( × 0.02800) = 5.156 ≒ 5.16 日

④ 切崩し・床均し日数 = 掘削土量(C) × 切崩し・床均し労務(人/m3) (K) / 3人 = 808.790 × 0.040 / 3人 = 10.784 ≒ 10.78 日

a1 = ① + ② + ③ + ④ = 8.17 + 7.20 + 5.16 + 10.78 = 31.31 日

2. 埋戻日数(a4) = 埋戻部全体数量(D5) ÷ 33.0m3/日 = 571.43 ÷ 33.0 = 17.316 ≒ 17.32 日

3. 土留引抜日数(a5)

① 矢板引抜日数 = 延長(L1+L2, L3+L4, L5+L6, L7+L8, L9) × 引抜日数(t1', t2', t3', t4', t5')  
 = ((99.50 + 71.40) × 0.00893) + ((8.00 + 114.50) × 0.00964) + ((69.00 + ) × 0.01060)  
 + (( ) × 0.01155) + ( × 0.01250) = 3.503 ≒ 3.50 日

② 支保工撤去日数 = 延長(L1+L2, L3+L4+L5+L6+L7+L8, L9) × 撤去労務(b1', b2', b3')  
 = ((99.50 + 71.40) × 0.00700) + ((8.00 + 114.50 + + 69.00 + ) × 0.01100)  
 + ( × 0.01700) = 3.302 ≒ 3.30 日

a5 = ① + ② = 3.50 + 3.30 = 6.80 日

4. 実供用日数(a0) = a1 + (a4あるいはa5で値の大きい方) = 31.31 + 17.32 = 48.63 日 (※ a4の値を採用)

5. 供用日数(a) = a0 × 30 / 20 = 48.63 × 30 / 20 = 72.94 ≒ 73 日

6. 使用回数(N) = 総延長(L) / 30m = 362.40 / 30 = 12.08 ≒ 12 回

7. 使用重量(W) = 延長(L1, L2+L3, L4+L5, L6, L7+L8) × 設置重量(W1, W2, W3, W4, W5)  
 = (99.50 × 0.215) + ((71.40 + 8.00) × 0.268) + ((114.50 + ) × 0.322)  
 + (( + 69.00) × 0.376) + (( + ) × 0.430) = 105.4847 ≒ 105.485

8. 1セット当り重量 = 使用重量(W) × 30m / 総延長(L) = 105.485 × 30 / 362.40 = 8.7322 ≒ 8.732

※切崩し・床均し労務(人/m3) (K) = 0.04 (バックホウ0.45m3級)

水替日数・ポンプ／釜場設置撤去 計算書

		本管	取付管	合計
全体延長	L	415.90	29.50	445.40
管床部全体数量	D1(碎石基礎)	39.45		
	(砂基礎)	78.40		
管側頂部全体数量	D2	0	8.42	
管上部全体数量	D3	78.40	0	
埋戻部全体数量	D4	448.35	39.19	
埋戻部合計	D5=D2+D3+D4	526.75	47.61	574.36

1. 基礎工(a1)				
管床部全体数量・敷均し転圧日数=D1÷97.0m <sup>3</sup> /日 碎石基礎				
$39.45 \div 97.0 = 0.406 \approx 0.41$ 日				
計 0.41 日				
2. 管布設日数(a2)				
(人力施工) 管布設日数 = 管距延長 × 布設歩掛 / 2人				
(機械施工) 管布設日数 = 管距延長 × 布設歩掛				
人力施工	リブ管150	304.95	× 0.038 / 2 =	5.794 ≈ 5.79 日
人力施工	PE管50	104.65	× 0.024 / 2 =	1.255 ≈ 1.26 日
人力施工	VU管100	29.50	× 0.025 / 2 =	0.368 ≈ 0.37 日
人 力 7.42 日				
機 械 日				
計 7.42 日				
3. 埋戻日数(a3)				
埋戻部全体数量・敷均し転圧日数=D5÷33.0m <sup>3</sup> /日				
$574.36 \div 33.0 = 17.404 \approx 17.41$ 日				
4. 水替日数(a0)				
$a0 = a1 + a2 + a3 = 25.24 \approx 26$ 日				
5. ポンプ及び釜場設置撤去				
全体延長(L) / 50				
$415.90 / 50 = 8.31 \approx 9$ 箇所				
6. 1箇所当り水替日数				
水替日数 / 箇所数				
$26 / 9 = 2.8 \approx 3$ 日/箇所				

# 交通管理工計算書

1. 土留材供用日数(a1)										
		本管					48.63 日			
		計					48.63 日			
2. 附帯工日数計算書(a2)										
工 種	規 格	単 位	数 量				合 計	日当施工量	日 数	
上層路盤工	歩道施工 1層(15cmまで)	m <sup>2</sup>	164.1	5.0	34.6	77.2	280.9	268	1.05	
	歩道施工 2層(30cmまで)	m <sup>2</sup>						268		
下層路盤工	歩道施工 2層(40cmまで)	m <sup>2</sup>	34.6	77.2	139.4		251.1	268	1.87	
	歩道施工 3層(60cmまで)	m <sup>2</sup>	164.1	2.5			166.6	268	1.87	
仮舗装工(人力施工)	歩道 幅1.4m未満 t=25mm以上~35mm未満	m <sup>2</sup>	164.1		34.6		198.7	250	0.79	
舗装版切断工	As t=15cm以下	m						240		
	Co t=15cm以下	m						150		
舗装版破碎工	t=10cm以下	m <sup>2</sup>						810		
機械掘削	土砂、小規模、標準	m <sup>3</sup>						37		
不陸整正		m <sup>2</sup>	358.6	8.5	160.5	418.2	945.8	1,580	0.60	
舗装工(機械施工)	車道 幅1.4m以上 t=25mm以上~70mm未満	m <sup>2</sup>	409.6	9.3	160.5		579.4	2,300	0.25	
	歩道 幅1.4m以上 t=25mm以上~70mm未満	m <sup>2</sup>						1,000		
路面切削工	带状切削 平均h=3cm以下	m <sup>2</sup>	51.0	0.8			51.8	1,800	0.03	
区画線工	溶剤・水性ペイント式、自走 実線(加熱・常温)15cm	m						8,200		
	熔融式、手動 実線15cm	m						1,500		
合 計									6.46	
3. 日数(a0)										
a0 = a1 + a2 =							55 日			
交通誘導員	誘導員B	55	×	2	人	≒	110	人		

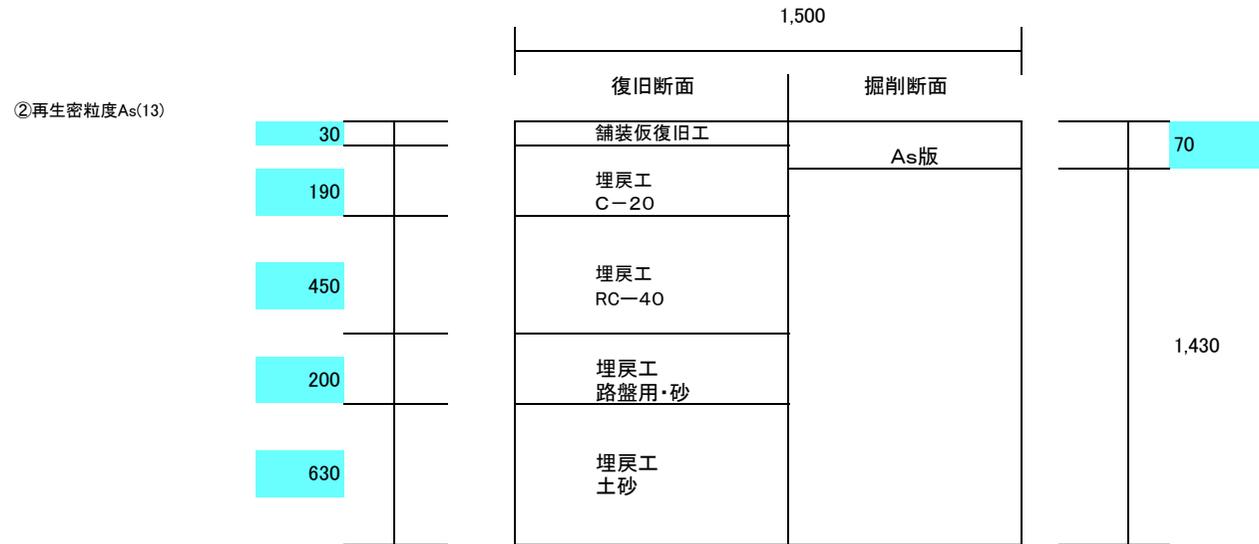


試験掘工

一般市道

幅 W= 0.91  
 延長 L= 1.50  
 深 H= 1.50

略図  
 No scale



(1箇所当たり)

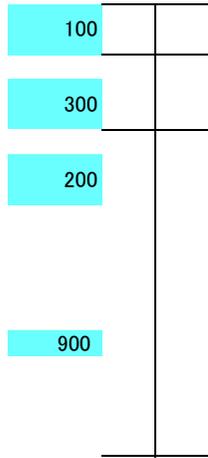
舗装切断工	$L = (0.9 \times 2 + 1.5 \times 2) \times 1 = 5.0 \text{ m}$
舗装盤破碎工	$A = 0.91 \times 1.50 \times 1 = 1.4 \text{ m}^2$
人力掘削・積込	$V = 0.91 \times 1.50 \times 1.43 \times 1 = 2.0 \text{ m}^3$
埋戻工(土砂)	$V = 0.91 \times 1.50 \times 0.63 \times 1 = 0.9 \text{ m}^3$
埋戻工(路盤用砂)	$V = 0.91 \times 1.50 \times 0.20 \times 1 = 0.3 \text{ m}^3$
残土処理	$V = 2.0 - (0.9 \div 0.9) \times 1 = 1.0 \text{ m}^3$
AS殻運搬・処分	$V = 0.91 \times 1.50 \times 0.07 \times 1 = 0.1 \text{ m}^3$
上層路盤工(C-20)	$A = 0.91 \times 1.50 \times 1 = 1.4 \text{ m}^2$
下層路盤工(RC-40)	$A = 0.91 \times 1.50 \times 1 = 1.4 \text{ m}^2$
舗装仮復旧 (再生密粒度As(13)t=3cm Pコート)	$A = \text{舗装盤破碎工に同じ} = 1.4 \text{ m}^2$

試験掘工

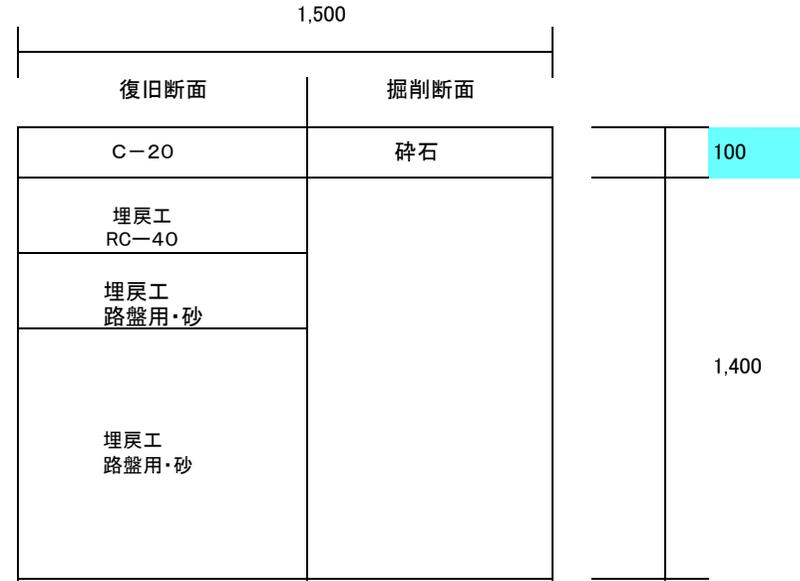
砂利道

幅	W=	0.91
延長	L=	1.50
深	H=	1.50

②再生密粒度As(13)



略図  
No scale

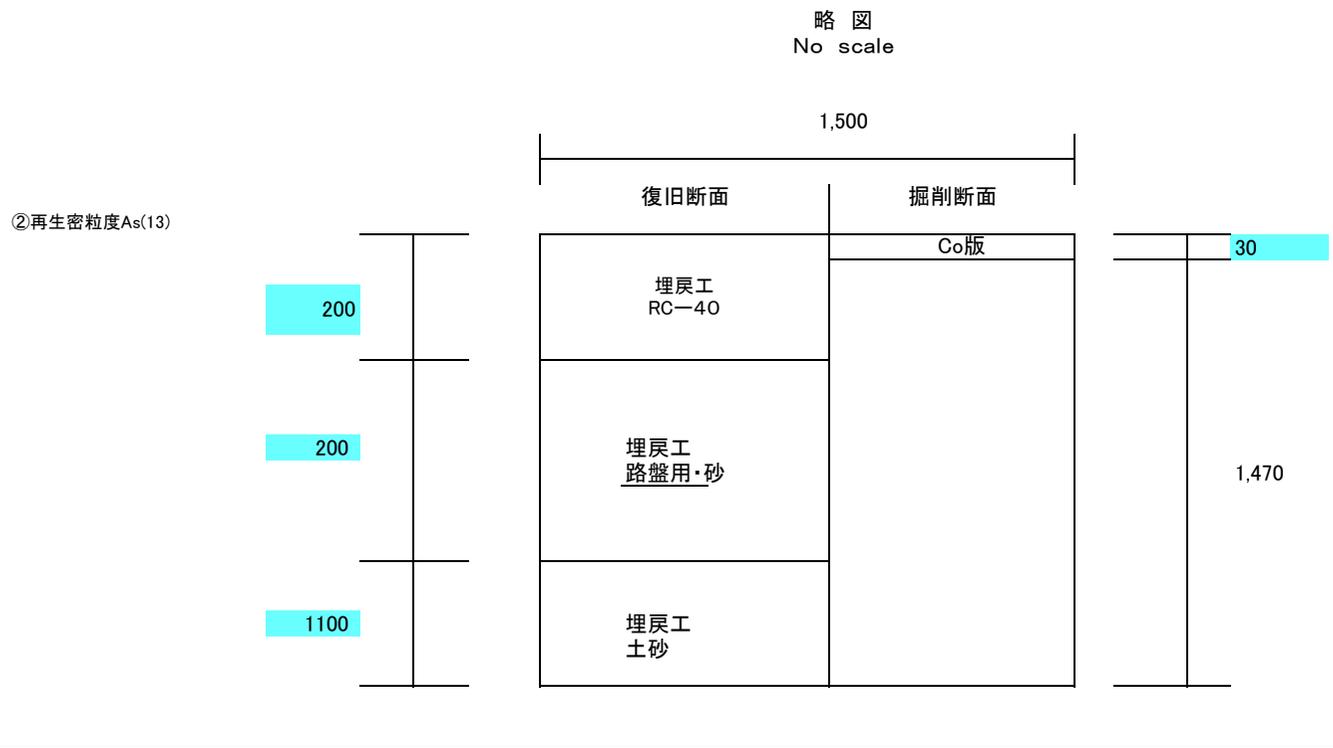


											(1箇所当たり)		
人力掘削・積込	V=	0.91	×	1.5	×	1.5	×	1	=	2.0	m <sup>3</sup>		
埋戻工(土砂)	V=	0.91	×	1.5	×	0.90	×	1	=	1.2	m <sup>3</sup>		
埋戻工(路盤用砂)	V=	0.91	×	1.5	×	0.20	×	1	=	0.3	m <sup>3</sup>		
残土処理	V=	2.0	-	(	1.2	÷	0.9	)	×	1	=	0.7	m <sup>3</sup>
上層路盤工(C-20)	A=	0.91	×	1.5	×	1			=	1.4	m <sup>2</sup>		
下層路盤工(RC-40)	A=	0.91	×	1.5	×	1			=	1.4	m <sup>2</sup>		

試験掘工

Co舗装道

幅	W=	0.91
延長	L=	1.50
深	H=	1.50



			(10箇所当たり)
舗装切断工	$L = (0.9 \times 2 + 1.5 \times 2)$		= 5.0 m
舗装盤破碎工	$A = 0.9 \times 1.5$		= 1.4 m <sup>2</sup>
CO殻運搬・処分	$V = 0.9 \times 1.5 \times 0.03$		= 0.04 m <sup>3</sup>
人力掘削・積込	$V = 0.9 \times 1.5 \times 1.47$		= 2.0 m <sup>3</sup>
残土運搬・処理	$V = 1.4 - (0.04 \div 0.9) \times 1$		= 1.4 m <sup>3</sup>
埋戻工(路盤用砂)	$V = 0.9 \times 1.5 \times 0.20$		= 0.3 m <sup>3</sup>
上層路盤工(C-20)	$A = \quad \times \quad \times$		= - m <sup>2</sup>
下層路盤工(RC-40)	$A = 0.9 \times 1.5$		= 1.4 m <sup>2</sup>
舗装仮復旧	$A =$		= - m <sup>2</sup>

# 共通仮設費内訳(合算)

管路施設第1号工事

工種	規格	計 算 式	数 量
運搬費	軽量鋼矢板	$\begin{matrix} \text{補助} & \text{単独} & \text{補助} & \text{単独} \\ \text{本管( 36.992 + 105.485 )} \times 30 / ( 107 + 362.4 ) \\ \text{取付管( 3.143 + 8.372 )} \times 30 / ( 30 + 26 ) \end{matrix}$	単独で計上
		$( 40.135 + 113.857 ) \times 30 / ( 137 + 388.4 ) = 8.790 \text{ t}$	8.79 t
準備工	試験掘工	$\begin{matrix} \text{補助} & \text{単独} \\ \text{県道A型} & ( 1 + ) = 1 \\ \text{一般市道} & ( + 2 ) = 2 \\ \text{Co道} & ( + 1 ) = 1 \\ \text{砂利道} & ( + 2 ) = 2 \end{matrix}$	
			6 箇所
			6 箇所
			6 箇所
役務費	臨時電力設備	$( 107.0 + 415.9 ) \text{ m} \div 100 \text{ m/箇所} \doteq 6.0 \text{ 箇所}$	6 箇所
技術管理費	カメラ調査	$\begin{matrix} \text{補助} & \text{単独} \\ \text{本管用} & ( 104.9 + 305.0 ) = 409.85 \text{ m} \\ \text{取付管用} & ( 2 + 5 ) = 7 \text{ 箇所} \end{matrix}$	409.9 m 7 箇所
			7 箇所
	土質試験工	$( + 1 ) = 1 \text{ 箇所}$	1 箇所
	気密試験工	$( + 104.65 ) = 104.65 \text{ m}$	104.7 m